

成和株式会社

50年史

確かなものを創りつづけます
SEIWA Neckwear
Manufacturers, Exporters & Importers

ごあいさつ

平成17年2月1日、成和株式会社は設立50周年を迎えました。半世紀にも及ぶこの機に、創業以来の歩みを回顧するとともに、さらなる飛翔の礎とすべく設立50周年記念社史の編纂に着手し、このたび上梓の運びとなりました。

当社の歴史は、昭和10年に創業者の和田全弘が日本橋本石町にて三和商廬の商号でネクタイ製造業を営んだことから始まります。第二次世界大戦中は一時休業し、昭和24年に千代田区神田に三和襟飾産業株式会社を設立して本格的にネクタイ製造業を開始しました。大ヒットしたシルククレックスタイを考案・販売するなど業界での位置づけを確立しつつ、昭和30年2月に発展改組し、資本金3,000万円にて成和株式会社を設立いたしました。その後、八王子に国内有数のネクタイ専門の製織工場を完成し、大阪にも支店を開設するなど、日本の高度成長とともに発展を続けてまいりました。そして今、50周年を無事に迎えることができましたのも、長年当社製品をご愛顧いただいておりますお客様、そして関係各位のおかげと心から感謝申し上げます。

戦後、我が国のネクタイ産業の歴史とともに歩んできた当社は、人の和・商品の和・取引先との和をもって社会生活の「うるおい」に向けて努力してまいりました。今後もネックウェアファッションを通じて豊かな生活文化の形成に、微力ながら貢献していく所存でございます。また志を高く持ち続け、不断の努力を重ねながら、確かなものを創り続けてまいります。今後とも従来同様のご支援、ご指導のほど、心よりお願い申し上げます。

平成17年2月吉日

代表取締役会長 **和田卓郎**

代表取締役社長 **和田匡生**

成和の由来(成和精神について)

会社で働く誰もが知っていなければならないのが、社名の意義です。

「成和」とは“和をつくりあげる”という意味で、「和」とは“口をしのぐ”という意をもち、また、和合、中和、融和、共和、和解、あるいは数の和など、あたたかく解け合い、大きな力となって盛りあげる意味をもつのであります。

また、姓名学上の画数からみると、「成和」は十五画で、画の運勢は、福寿円満の象、雅量に富み上位の引き立てあり、徳望を得て大業を成就し、富貴榮譽を得る、最大の吉運数といわれます。

したがって、「成和精神」とは、事業において、人とモノと信用の三つの和を礎石とします。経営については、まず第一に“人の和”を重点におきます。そして“商品の和”、“取引先との和”、この三つの和は、とりもなおさず、社業発展のためには最大最高のエネルギーであります。かつ、これを成和の魂として、社長はじめ全社員が結集して前進することあります。



成和株式会社 創業者 和田 全弘
(初代代表取締役社長)

企業理念

人の和・商品の和・
取引先との和を以て成し
社会生活の「うるおい」に
向けて確かなものを
創りつけます

成和五訓

「自ら人間形成の努力を怠らざる
「各自の創りの挑戦を心掛ける
「業務の能率を改善努力とする
「人の相互信頼と、和を築く
「人の幸せは繁栄の成れる

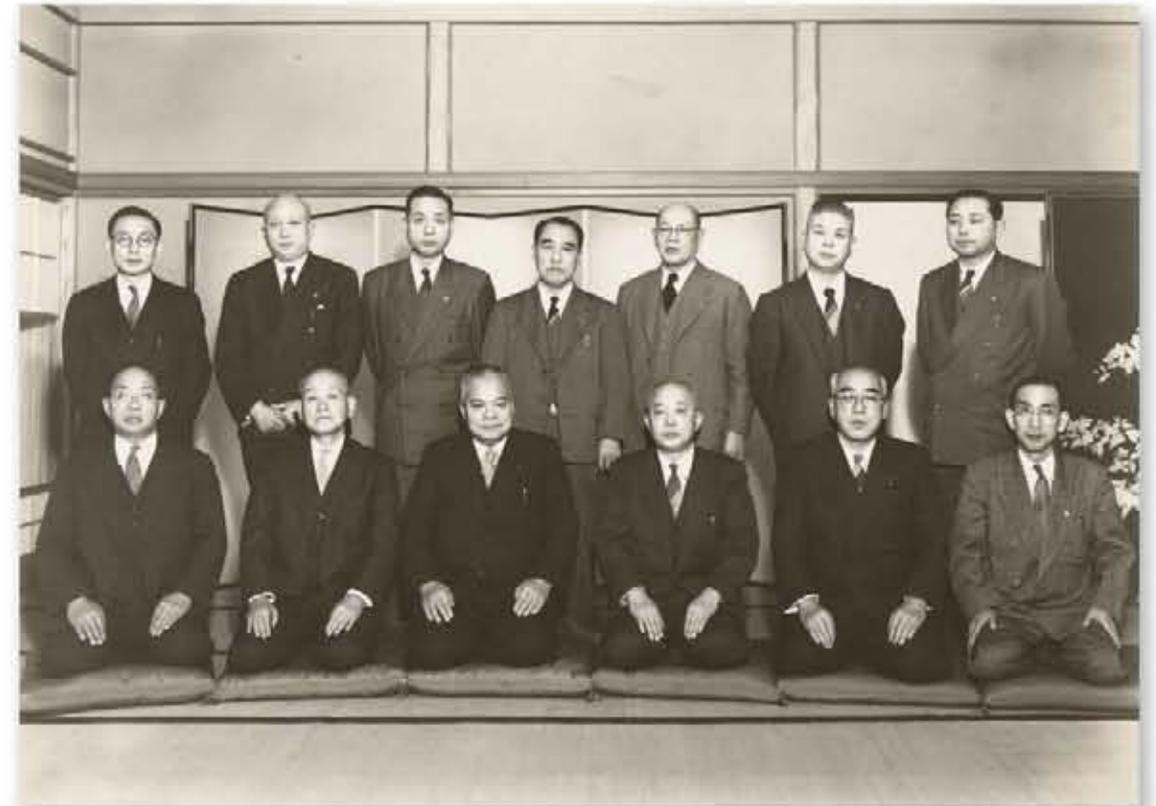
事業繁栄の5原則

1. 幸福は常に人を思うことで生まれる。
2. 幸福は一人一業を貫くことである。
3. 幸福は絶えずアイデアの開発にある。
4. 幸福は生産性向上にある。
5. 幸福は社運と共にある。要は人の成功は幸福を創ることである。

語 録

1. 男が仕事をする場合、名をとるか、実をとるか、
企業家になるか、家内工業か決めることが重要だ。
私は「家業精神を活かした近代化」でやっていく。
2. ネクタイを金儲けの手段でやるのもいいが、
それは一代で終わることが多い。
3. 良い時も悪い時も、社員に対し下職に対して責任を持つことが経営者だ。
首を切らずに辛抱して面倒を見ていくところに経営者の思想がある。
経営者は幹部の力を借りて、能力を出し易い環境や道づくりをすることだ。
4. 自分だけを考えず、業界は仲良く交流を。
5. 儲けたことより損した記憶の方が強い。
錫増量の研究・開発と生産、ギリシャから石鹼を輸入しての研究等、
いいと思うことは全部やってきた。
ネクタイメーカーと自認するからには創る痛みを忘れてはいけない。
辛さを知っていればこそ、ネクタイを大事に売る気持ちも生まれる。
「損して得とれ」の精神こそ、企業を永遠化する道だと私は考えている。

※上記は、初代社長和田全弘が常日ごろからの事業に対する考え、あるいは、商売に対する姿勢、モノの考え方を説いたものです。



成和株式会社発足準備メンバー

初代社長和田全弘(前列右から3番目)



昭和30年代の本社(東京都千代田区九段)

和田全弘叙勲記念祝賀会

(昭和46年6月26日 於:東京帝国ホテル 富士の間)

主催 東京ネクタイ協同組合
成和株式会社
共催 日本ネクタイ組合連合会
東京第一マフラスカーフ協同組合



勲五等瑞宝章を授与された創業者



喜びの和田夫妻



皇居にて記念撮影(前列左から6番目、和田全弘)



祝賀会場で挨拶する和田全弘



目次

第1章 成和50年の歩み	
三和商廬時代	13
三和襟飾時代	17
成和時代	19
第2章 成和50年の歩み	
成和展示会	53
協賛展示会	55
記念行事	57
成和協会	59
社員慰安旅行	61
歴代社章	63
第3章 資料編	
日本におけるネクタイ流行の変遷	65
当社の代表作品	67
新年歌会始の御題テーマネクタイ	71
取得商標登録一覧表	72
特許一覧表	73
会社概要	75
歴代役員	76
株式会社成和ネクタイ研究所の歩み	77
会社組織図	79
「父の日」「バレンタインデー」等宣伝活動	81
ポスター・テレフォンカード	83
国内ネクタイ生産量	85
ネクタイ国別輸入数量	86
生糸生産量および輸出入量	87
養蚕及生糸生産量の推移	89
東京外国為替相場	90
全国ネクタイ業者一覧	
東京ネクタイ商工業協同組合	91
関西ネクタイ商工業協同組合	93
中部洋品商工組合	95
博多織ネクタイ協会	95
全国ネクタイメーカー同和会発足当時のメンバー	96
編集後記	97

第1章

成和50年の歩み

創業70年・設立50年

50

三和商廬時代〈昭和10年～23年〉

三和襟飾時代〈昭和24年～29年〉

成和時代〈昭和30年～平成17年〉

当社のあゆみ

- 昭和10年(1935年)**
 ○現社長の祖父、和田全弘により日本橋本石町に三和商廬の商号でネクタイ製造業を始める(資本金5千円)
 ○第二次大戦中、一時休業
- 昭和11年(1936年)**
- 昭和12年(1937年)**
 ○八王子、桐生の本絹織経物(ストライプ、チェック)を中心に販売、夏には蝶ネクタイが全盛。また、関西の仲間業者への生地売りが大半を占める
- 昭和13年(1938年)**
- 昭和14年(1939年)**
- 昭和15年(1940年)**
 ○この年の売上15万円(従業員数3名)
- 昭和16年(1941年)**
- 昭和17年(1942年)**
 ○この年の売上18万円(従業員数3名)



昭和15年当時に使用していた三和商廬の封書

業界のうごき

- 背広のオーダー25円、靴5円
- 羊毛の輸入が制限され、代用にスフが使われる
- 博多織ネクタイ全盛
- 人絹ネクタイの輸出が活発化
- 日本ネクタイ連合会創立
- ネクタイ販売価格統制される(昭和24年まで続く)
- 日本ネクタイ連合会ネクタイ販売公定価格(小売価格)本絹ネクタイ1円75銭～3円60銭、絹人絹ネクタイ1円35銭～1円55銭、人絹ネクタイ50銭～70銭
- ネクタイ卸代行店発足

社会のうごき

- 第4回国勢調査(総人口:6,925万人、平均寿命:男性44.8歳、女性46.5歳)
- 女性のパーマ普及(料金10円)
- 2.26事件起こる
- 日本職業野球連盟結成
- 第12回オリンピック東京開催が1940年に決定(1938年に返上)
- 日中戦争始まる
- 価格統制令等公布
- 国家総動員法公布
- 国民服の着用提唱(チョッキ、ネクタイ無し)
- 東京市バスに木炭車登場
- 国民徴用令施行
- 米穀配給制度公布
- タバコ「敷島」35銭、「朝日」7銭
- 奢侈品等製造販売制限規則(七・七禁令)発令——贅沢品禁止令
- 紀元2600年記念式典挙行
- 米の配給通帳制実施
- 大東亜戦争開戦
- 物資統制令公布
- 衣料切符制実施

当社のあゆみ

昭和18年(1943年)

第二次大戦中休業
軍需産業の日本染毛に従事

昭和20年(1945年)

昭和21年(1946年)

昭和22年(1947年)

○ネクタイ業に復帰、神田司町(現本社)にて再開する

業界のうごき

○ネクタイ製造用の生糸が配給停止になる

○ネクタイの販売停止
○織機の供出

○東京ネクタイ協会設立
○日本ネクタイ連合会を日本ネクタイ協会に改称し、再発足
会長:万代政治郎、副会長:堀欣三、
京都支部長:荒川為義、大阪支部長:
朝倉外治、福岡支部長:松井庄次郎
○石目織流行(価格は正絹:351円、交織:295円)……物価統制下
エンジ色主流、ネクタイ幅12cm

○アセテートプリントタイ台頭

社会のうごき

○学徒戦時動員体制実施

○大都市の学童疎開実施

○広島、長崎に原爆投下
○ポツダム宣言受託
○日本降伏敗戦
○連合国軍日本進駐
○衆議院議員選挙法が改正され、婦人に参政权が与えられる
○労働組合法公布

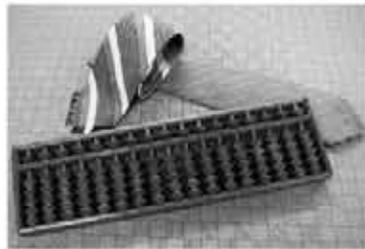
○第一次吉田茂内閣発足
○メーデー復活
○日本国憲法公布
○新円切替え

○教育基本法公布、6・3制開始
○労働基準法公布
○社会党首班の片山哲内閣成立

当社のあゆみ

昭和23年(1948年)

- 和田全弘は「生糸割当統制下において、同業者団結が必要」と考え、発起人の一人となって組合を設立し、常任理事に就任



昭和24年(1949年)

- 三和襟飾産業株式会社を千代田区神田に設立(資本金50万円)
- 「シルクレックスタイ」を考案し、販売を開始する(価格600円～650円)
東京は1社(三巻加工)、大阪は2社(三巻加工と房出し加工)を中心に販売開始
昭和35年頃まで続き、爆発的人気を呼んでミリオンセラーとなる
- この年の売上げ120万円(従業員数4名)



シルクレックスタイと当時の算盤社名入り算盤裏面

昭和25年(1950年)

- コハク地ネクタイ(縞経)を生産・販売、好評を博す(この頃は三巻加工中心)
- 縞経チェック、石目織等を生産・販売開始
- 関西の仲間業者への生地売り再開、昭和33年頃まで続く



シルクレックスタイ

昭和26年(1951年)

- 「REX」の商標登録申請(昭和29年取得)
- 国内で初めての「スクエアタイ(角タイ)」を考案・発売
- シルクレックスタイ(角タイ加工)を東京1社、大阪1社に販売

業界のうごき

- 戦時中、中断していたネクタイ問屋の営業が再開される
- 東京ネクタイ商工業協同組合設立
理事長:菅清次郎(会員76名)
- 大阪ネクタイ製造組合を大阪ネクタイ商工業協同組合に改称
理事長:久保衡(会員34名)
- 玉織、朱子縞、ヤスラ、銀座格子流行(価格250円～350円)
紺、茶系主流
- 絹製品の統制解除により、生糸標準価格(横浜相場)が1kg=1800円～2400円(以後、現在まで生糸相場として推移)に
- 朱子縞、石目織流行
- ネクタイ幅10cm
- 大阪ネクタイ製造組合に京都の関西ネクタイ商業会が合流し、関西ネクタイ商工業協同組合に改称
理事長:朝倉外治
- 西陣産玉織、金華山全盛(価格500円～750円)
石目織ベズリー、コハク縞流行(価格は交織350円～550円、正絹プリント650円～850円、シルクウール650円)
- ネクタイ幅9.5cm、長さ122cm
- 日本ネクタイ組合連合会発足
会長:菅清次郎

社会のうごき

- 商工業協同組合法施行
- 第二次吉田内閣成立
- 1ドル=360円の単一為替レート実施
- 絹織物の統制が解除される
- 湯川秀樹博士がノーベル物理学賞を受賞
- 戦後初めて、米国プロ野球チームが来日
- 「フジヤマのトビ魚」古橋広之進選手が水泳自由形で世界新記録
- 千円札発行
- 衣料の統制廃止
- 朝鮮動乱
- 日米安全保障条約調印
- NHK第1回紅白歌合戦放送



三和襟飾時代のネクタイ

当社のあゆみ



シルクレックスタイ(角タイ)

○株式会社電通を通じ、「シルクレックスタイ」を日劇のショーウィンドーにて宣伝

昭和27年(1952年)

○「シルクレックスタイ」に並行して「ウールレックスタイ」を開発

昭和28年(1953年)

○「シルクレックスタイ」が驚異的に販売記録を伸ばす(昭和28年秋から昭和30年にかけて40万本を販売)別燃の太糸で製織、サラッとした風合いで締めやすく、シワにならない特徴が受け人気を博した(600円～650円)

○「ボニータイ」(ウール、両面ステッチ付)を考案・発売

昭和29年(1954年)

○「シルクレックスタイ」がブームになり、増産体制、カットスタイルも開発販売強化

昭和30年(1955年)

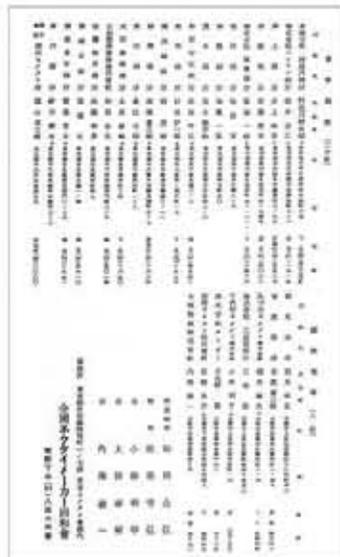
○成和株式会社(資本金3000万円)を千代田区九段に設立(三和襟飾産業株式会社を発展改組)

○この年の売上げ1億7千万円(従業員数25名)

昭和31年(1956年)

○成和織物工場を八王子市明神町に開設(シャトル織機10台、整経機1台、繰返機20スイ、管巻機10スイ、紋彫機1台他)

○「シルク綾プリントタイ」を好評生産



全国ネクタイメーカー同和会発足時の名簿



昭和30年代の本社(東京都千代田区九段)

業界のうごき

- 全国ネクタイメーカー同和会発足
会長:和田全弘
- 和田全弘、日本ネクタイ連合会発足に伴い、理事に就任
- 第1回東洋連見本市開催(東京ネクタイ商工業協同組合、東京ワイシャツ協会、東京洋装雑貨卸商業協同組合の3団体が提携)
- ベロア、無双色無地タイ流行

- 一本取り、アンダーノットなどの大柄が出始める
- ネクタイ幅9.0cm、長さ124cm

- 関西業者が東京進出を始める
- 高級品(裏付加工)1000円～1200円
- ボーラータイ(棒タイ)流行

- 日本ネクタイ組合連合会役員改選
会長:朝倉外治
- マンボスタイル流行(マンボタイ、カットタイ、プリーツタイ登場)
- ネクタイ幅8.5cm

- 日本ネクタイ組合連合会役員改選
会長:野田京次郎

- プリントタイブーム
- ネクタイ幅8cm

社会のうごき

- 児童憲章成立
- 日米安全保障条約発効
- ヘルシンキオリンピックに戦後初参加

- NHK、テレビ放送を開始
- 中国より日本人帰国はじまる

- 洞爺丸転覆、日本最大の海難事故となる
- 自衛隊発足

- 自由民主党結成
- ガット加盟
- トランジスタラジオ発売
- 神武景気はじまる

- 国際連合加盟承認
- 百貨店法公布

当社のあゆみ

- 「ローケツ染ネクタイ」の生産を開始
- アメリカ、ブラジル、東南アジア諸国へ輸出はじまる

昭和32年(1957年)

- 和田全弘欧州視察からの帰国後、錫加工の研究を明神町工場に指令
- 「ゼファー」の登録商標にて、「アスコットタイ」の発売を開始
- 「ナイロンメッシュプリントタイ」を開発し、発売開始(価格500円)
- 「エメール」多色ミックス経ネクタイを開発し、販売開始
- 「ハーمانタイ」ウーリーナイロン糸を使用、ネクタイの常識を越えた縦取りネクタイを開発し、販売開始、話題となる



アスコットタイ「ゼファー」



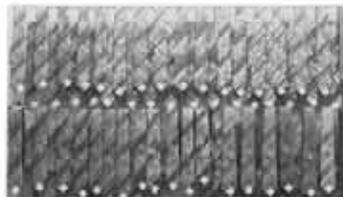
錫加工ネクタイ「WEGTING」

昭和33年(1958年)

- 和田全弘が組合運営の功績により、東京都経済局長から表彰される
- 社長東南アジア各国を視察
- 錫加工ネクタイの製造に日本で初めて成功し、「WEGTING」名にて販売開始
- 「ラッセルレースプリントタイ」(実用新案)を開発し、販売開始大ヒットする(メッシュとともに約8年続く)
- チャコールグレーの「シルクウールタイ」を生産販売、大ヒット商品となる
- 「縞経サッカー胸柄」を考案、意匠登録し販売開始、春夏商品として好評を博す

昭和34年(1959年)

- 「錫加工タイ」を販売、徐々に増加
- 皇太子、正田美智子様のご成婚にあわせ、「慶祝カラータイ」(真珠、さくらん、若竹、象牙、さくら)及び「ミッチータイ」を生産販売。この「慶祝カラータイ」がのちの「シルバータイ」となり以後、当社がフォーマルタイシェアを圧倒する
- 「テロン縞タイ」を国内でははじめて開発・販売開始
- 「シャンタンスト」及び「シャンタンプリントタイ」(カネボーシャンタン)を開発・販売、大ヒットする
- 「カロンサテン無地スリムタイ」を発売、大ヒットする
- 「パイルマフラー」(ウール)開発・発売開始、大ヒットする



無名からヒットしたネクタイ「銀座好み」

昭和35年(1960年)

- 成和グループ従業員総数65名

業界のうごき

- 和田全弘がマフラー業界に組合の結成を呼びかけ、東京第一マフラー・スカーフ協同組合結成。理事長大森金次郎、常任理事に和田全弘就任
- カシミ織ラメ入りブーム
- 角タイ流行
- ネクタイ幅7.5cm

- 東レ、帝人がテロンの生産を開始
- ネクタイ幅7cm~7.5cm

- 紗織ネクタイ人気
- チャコールグレー全盛
- カシミロン、ボレネル、アロン、テビロレ等、化学繊維が続々登場
- 日本ネクタイ組合連合会で組合員を対象にネクタイの生産量調査を開始(1982万2500本と発表)
- ネクタイ幅7cm、長さ127cm

- アイビースタイル人気

社会のうごき

- 電化製品普及(三種の神器:洗濯機、冷蔵庫、掃除機)

- 五千円札、百円硬貨発行
- ソ連が人工衛星の打ち上げに成功

- 一万円札発行
- 売春防止法施行
- 神戸三宮に「主婦の店ダイエー」が開店
- アメリカが人工衛星の打ち上げに成功
- 東京タワー完成
- ナベ底景気

- 岩戸景気
- 皇太子、正田美智子様ご成婚
- NHK第1回レコード大賞に「黒い花びら」が選ばれる

- 安保改定反対運動が起こる



同和会コンクール出品



春の同和会商談風景(昭和34年 熱海金城館)



建設中の本社ビル/新築本社



八王子製織工場外観



本社ビル新築披露



大阪出張所



大阪出張所開設披露

当社のあゆみ

- 俳優、石原裕次郎結婚式の特注ネクタイを受注制作
- 皇室歌会始の「御題」をテーマにしたネクタイの生産を開始、話題となる(昭和63年まで継続して生産・販売)
- 「日本三景」、「観光名所」、「家紋」、「和歌」等輸出向に企画・生産する
- 「名画チビタイ」をアクセサリーとして企画、生産・販売
- 「テロンレックス」を開発し、販売開始する
- 「うずしお」を生産・販売し、大ヒットする
- 前衛書道家の篠田桃紅、町春草先生のデザインによる「書道プリントタイ」を発表
- 「銀座好み」が爆発的ヒット

昭和36年(1961年)

- 本社ビルを千代田区神田司町に建設し、本社を移転
- 製織工場(成和ネクタイ総合研究所)を八王子市北野町に建設
織機50台、整経機2台、糸繰機8台、合撚機2台、紋彫機2台、自動染色機2台、錫加工設備一式
- 大阪出張所を大阪市東区(現中央区)博労町に開設。従業員数6名(男3名、女3名)で営業開始
- 自家工場にて錫加工の量産に成功、第1回国際見本市に出品し、輸出に力を入れる(以後、第6回まで出展—1年交替、東京晴海、大阪南港の国際見本市会場)
- 「錫加工タイ」の一般販売を開始
- 帝人、東レの企画に参加し、「ホンコンタイ」を生産・販売
- 和田卓郎、輸出業務拡大のため香港出張
- メーカー業とは別に販売会社株式会社セーワを設立、2~3年活動の末休業

昭和37年(1962年)

- 就業規則制定
- 錫加工の研究に対し、日本絹業協会より助成金が公布される(昭和37年30万円、昭和38年20万円)
- 「紗織」、「フレスコ」、「W紗」を大々的に生産・販売
- 「書道プリント」(篠田桃紅)を企画・生産し大ヒット、同和会コンクールにて最優秀賞を受賞(昭和38年も2年連続して受賞)

業界のうごき

- 舶来ブランドネクタイ登場(ピエールカルダン、紋織角タイ、価格1000円~1350円)
- コブト、ペイズリー、サラサ柄流行(正絹ラメ入り1000円~1350円)
- ネクタイ幅6cm

- 半袖ホンコンシャツ登場
- 紗織ブーム
- ネクタイ幅5.0cm、長さ130cm(昭和36年~37年頃、ネクタイ幅4cmのものも登場し、戦後もっとも幅の狭い時代を迎える)

- アイビールック爆発的流行
- ストライプ柄ブーム
- シャーベットーン流行

社会のうごき

- 池田首相による高度成長所得倍増政策が始まる
- カラーテレビ時代、インスタント食品時代到来
- 銀行、カード会社等のクレジットカード発行はじまる
- アメリカ大統領にケネディが当選

- ソ連が世界初の人間衛星船の打ち上げに成功
- 経済協力開発機構(OECD)発足
- 夢の調理器・国産電子レンジ発売1台125万円
- シームレスストッキング、キャンペーン初年度600万足販売爆発的人気

- 流通革命論、問屋無用論が業界をにぎわす
- スーパーマーケットの新規開店ブーム
- 家庭用品の品質表示法施行
- 東京が世界初の1000万人都市となる
- 国鉄リニアモーターカーの研究開始



春の新作展示会(昭和36年 本社ビル)



春の新作展示会(昭和36年 本社ビル)



「書道プリント」同和会最優秀賞受賞

当社のあゆみ

昭和38年(1963年)

- 成和労働組合結成全織同盟傘下東京商労に加盟
- 夏物(紗織、フレスコ、W紗)大增産
- 「ゴールドタイ」(本金糸)、「シルバータイ」(本銀糸)を生産し、販売を開始する



同和会表彰式(最優秀賞授賞)

昭和39年(1964年)

- 成和株式会社設立10周年(創立30周年)記念パーティーを開催
- 「オーガンジー」二枚重ねタイを生産・販売
- 研究所にて縞縞二重紗を研究開発
- 「オリンピックマークタイ」を生産・販売



「天平錦」(研究所特製)

昭和40年(1965年)

- 当社独自の錫加工量産装置が完成、同時に本格生産・販売を開始
「ウエイティング」、「セタリック」名にて発売
- 設立10周年記念'65A/W COLLECTIONを小笠原ビル、大阪は松豊ホール、それぞれ社外ではじめて開催
- 黒のニットタイ「ボンドルック」を生産・販売、人気が沸騰する
- 玉織の生産・販売開始
- 研究所にて「天平錦」を企画・生産(マフラー、テーブルクロス)



第五回国際見本市(東京晴海)

昭和41年(1966年)

- 成和株式会社陸会発足(仕入先懇親)
- 研究所にて「フレスコ」を企画・生産(錫加工糸使用)
- 花柄のモッズタイ発売、人気

業界のうごき

- MFUがTPOキャンペーンを展開
- 半袖ホンコンシャツの普及で、夏物ネクタイの需要が増加
- レジメンタルタイ、アスコットタイ人気
- 角タイプーム
- ネクタイ幅6.0cm(徐々に広くなり始める)

- 紗織、フレスコ全盛
- ウールマーク制定
- VAN、JUN設立
- ワンポイントマークのボロシャツ人気

- 第25回記念同和会
- ブランド品好調
- アイビーファッション大流行
- オプティカルアート流行
- アールデコ調が新しく登場する
- ネクタイ幅6.2cm(4cmのスリムタイも出回る)

- 日本ネクタイ組合連合会が父の日を制定し、宣伝をスタートする
- モッズルック流行

社会のうごき

- ケネディ大統領暗殺
- 名神高速道路開通
- 坂本九の「スキヤキソング」(「上を向いて歩こう」)がアメリカで100万枚を突破
- プロレスラーの力道山、暴漢にさされ死亡
- 家電製品普及率、白黒テレビ88.7%
電気洗濯機66.4% 電気冷蔵庫39.1%

- アメリカが月ロケットの打ち上げに成功
- 東海道新幹線開業
- 東京オリンピック開催
- OECD加盟

- 物価高騰
- ベトナム戦争始まる
- 朝永振一郎博士がノーベル物理学賞を受賞
- 日韓条約調印

- 中国文化大革命
- ビートルズ来日
- 2月11日を建国記念日とする政令公布
- 新三種の神器(カラーテレビ、クーラー、カー)3C時代到来
- いざなぎ景気
- ミニスカート流行



夏物ネクタイ(W紗・フレスコ・紗)



錫加工に関する販促パンフレット

昭和42年～昭和45年

1967

1970

当社のあゆみ

昭和42年(1967年)

- 「サンセット」を生産・販売(以後約20年、継続販売)、ヒットミリオンセラーとなる。この「サンセット」は、割ボカシの縞整経による味わい深い微妙な色の変化が夕日の色に似ているところから名付けられ、年齢を問わずビジネスマンに圧倒的な人気を得る
- ブラジル、アメリカ、東南アジア等への輸出急増約10万本
- ヨーロッパ繊維フェア(スイス)にあわせ、和田寛次欧州を視察
- 「ピーコックタイ」を生産・販売
- ウールマークの商標使用契約、生産・販売開始



「サンセット」

昭和43年(1968年)

- オールデコ柄を大量生産
- 東京ネクタイ協同組合野球大会で準優勝(翌年も準優勝)

昭和44年(1969年)

- マフラー部門充実、本格的生産開始
- ループタイの国内における独占製造販売権を取得、その後「ロッサム」の名称で現在も継続販売
35年以上の実績、需要も安定ワンタッチタイの定番となっている



ループタイ「ロッサム」

昭和45年(1970年)

- 茅ヶ崎市南湖に縫製工場が完成
- 「万博マークネクタイ」をライセンス生産・販売
3000本を万博協会に寄贈し、会長より感謝状が授与される
- 設立15周年記念祝賀会及び成和グループ旅行会を開催
- 新ワンタッチタイ「レキシィ」を開発



社内の高談風景(本社ビル)

業界のうごき

- ピーコックレボリューション(孔雀革命) 提唱
- カラーシャツ登場
- ネクタイ幅6.5cm

- 明治100年を記念して、ネクタイフェスティバルを実施
 - タートルネック流行
 - オールデコの台頭
アメリカの情報誌「メンズウェア」による'68ネクタイ5大メーカー売上高
- | | | |
|---------|----------|------|
| ウェンブリー | 1,500万ドル | 54億円 |
| スパーバ | 1,000 | 36.0 |
| ポーブランメル | 850 | 30.6 |
| フランス | 850 | 30.6 |
| エムアロン | 800 | 28.8 |

- 関西ネクタイ商工業協同組合20周年
- カラーシャツブーム
- バンタロン流行
- ネクタイ幅7cm～7.5cm

- 海外デザイナーズブランド全盛
- ジーンズブーム
- 生糸相場が1kg=8000円以上に高騰
- ネクタイ幅8cm～9cm

社会のうごき

- 東京都に初の革新知事が誕生
- グループサウンズ全盛
- 中東紛争勃発
- 自動車の保有台数1000万台、テレビ受信契約200万台、日本の人口1億人を突破

- 小笠原諸島が日本に返還される
- 郵便番号制度発足
- 川端康成がノーベル文学賞を受賞
- 日本のGNPがアメリカに次ぐ世界第2位となる

- 全国116の大学で学園紛争が起きる
- アメリカの宇宙船「アポロ11号」が人類初の月面着陸成功
- 自動車保有台数1652万台
アメリカに次ぎ世界第2位となる
- ボーリングブーム

- 第11回国勢調査(総人口:1億466万人/男5,137、女5,329人/平均寿命:男69.31才、女74.66才)
- 大阪万国博覧会開催77ヶ国参加
- 日本初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げに成功
- 日本赤軍が日航機よど号を乗っ取る

当社のあゆみ

昭和46年(1971年)

- 和田全弘がネクタイ業界初の勲五等瑞宝章を賜与され、叙勲祝賀会を帝国ホテルにて開催
- 大阪店開設10周年記念秋冬新作発表会を松豊ホールにて開催
- 京都、名古屋で別途展示会開催
特に夏物(紗、W紗、フレッシュャー、フレスコ)に力を入れる
- 本手しぼりネクタイを販売開始

昭和47年(1972年)

- 本社ビル増築完成
- 札幌オリンピックマークのライセンスを取得し、刺繍入りマフラーを生産・販売
- インポート(生地)本格的に取り組む(ジャガードの他、アスコット・マフラー用のプリント等)
- 展示会日程に先がけ、企画内見会をはじめて開催

昭和48年(1973年)

- 本社4Fに常設展示場新設
- 成和グループ従業員総数195名(男81名、女114名)、過去最高の従業員数を記録
- 国内初、麻100%ネクタイを商品化、百貨店ルートに販売
以後、夏の中心的ネクタイとしてブームを呼ぶ
- 「誕生日おしゃれ花シリーズ」の意匠登録を申請(昭和51年登録)
- 「名画シリーズ」を生産・販売、好評を博す
- アスコット、インポートもふくめて本格的に生産・販売
- チーフセット開発、好評(以後5年位継続)
- 「子供タイ」を生産・販売開始

昭和49年(1974年)

- 千代田区九段に9階建賃貸ビル(九段プラザ)が完成
- 大阪店3階建ビルが完成、大阪出張所を大阪店に改称
- 「年輪プリント」を生産・販売、人気を呼ぶ
- 「波箆紗」を開発し、生産・販売を開始
- 「羅織」をネクタイ用に開発、生産・販売開始
以後、夏ネクタイの定番として約10年間販売ミリオンセラーとなる



叙勲に合わせての研究所取材記事



国内初の麻ネクタイ



九段プラザビル(建設中)

業界のうごき

- 日本ネクタイ組合連合会が10月1日を「ネクタイの日」に制定、10月7日までをネクタイウィークとして宣伝開始(明治17年(1884年)10月1日、小山梅吉氏が日本で初めてネクタイを製造したことに由来する)
- アメリカンカジュアル全盛

- MFUがベストドレッサー賞を制定
- ホットパンツ流行
- 生糸相場が高騰のさざし
- ネクタイ幅が広幅化、織物9.5cm、プリント10cm

- 輸入ネクタイ急増
- エクセース登場
- 生糸相場が暴騰1kg=12,000円
- 各織物産地より値上げ要求が続出

- 繊維不況が深刻化
- 生糸輸入一元化実施
- プリントネクタイブーム

社会のうごき

- 円・ドルの固定相場から変動相場へ移行(移行時1ドル=308円)
- 第二次ベビーブーム
- マクドナルド東京銀座に1号店オープン(ハンバーガー1個80円)
- 日清食品カップヌードル発売(1個120円)

- 冬季オリンピック札幌大会開催
- 元日本兵横井庄一氏がグアム島で発見され、救出される
- 日中国交樹立
- 珍獣パンダ人気
- 沖縄が返還され、沖縄県発足
- 山陽新幹線(新大阪-岡山間)開業

- 第一次オイルショック
トイレットペーパーパニック
- 競馬ブーム(ハイセイコー人気)
- ゴルフブーム
- 江崎玲於奈氏がノーベル物理学賞を受賞

- オイルショックによる狂乱物価
- 佐藤栄作元首相がノーベル平和賞を受賞
- オカルトブーム
- 続売巨人軍・長島選手引退



マーク入り社員用ネクタイ(叙勲記念)



羅織ネクタイ

当社のあゆみ

昭和50年(1975年)

- 資本金4174万5000円に増資
- 成和株式会社設立20周年、創業40周年記念祝賀会開催
- NCR399コンピュータ導入
- 「誕生花」1～2月の12柄(昭和48年意匠登録申請、昭和51年登録)を生産・販売開始
- 麻織タイに続いて麻100%プリントタイを開発、夏のビジネスタイとして百貨店で販売、大ヒットする
- 春夏のカジュアルタイとして、「カジュアルエイト」(ループタイ)がとくに年輩者からの人気を集まり、増産する

昭和51年(1976年)

- 社員保養施設として、神奈川県大磯に成和大磯寮建設
- 「カレルック」角タイを生産・販売
- 特殊装置による「紋W紗パネル」を新規に開発、生産・販売開始
- シャトル織機による「かすみ織」の生産・販売を開始、以後継続販売

昭和52年(1977年)

- 和田全弘の喜寿祝いに際し、胸像を全従業員が寄贈
- アメリカ最大手のネクタイメーカー・ウェンブリー社と技術提携し、生産・販売開始
- ウェンブリー社のコンベンションに和田卓郎出張、以後毎年交替で出張
- 西印度諸島海島綿協会とメンズネックウェア部門のライセンス契約を締結
- 「レノクール」オーガージー二枚重ねを生産・販売開始
- 「辻ケ花」を開発、手描き、ろうけつ染、墨流し、京友禅、本手しほり等、民芸調が出そろい、ギフト商品としてブームとなる

昭和53年(1978年)

- 和田全弘逝去、従六位を追位される
- 東京東本願寺にて社葬を執う、これに伴い和田卓郎が代表取締役社長に就任
- 帝人、東レ協同企画に参加、「パスポートタイ」の生産・販売開始
- プリント増産、アスコットやチーフセットの他スケアースタイルのネクタイも提案
- 「スコッチガード」を住友3Mとの業務協力により、生産・販売開始



成和大磯寮



創業者 和田全弘胸像

業界のうごき

- 衣料品のホルマリン規制はじまる
- 百貨店協会が統一仕入伝票を採用
- ネクタイ幅10.5～11cm(昭和50年～51年、幅13～14cmのものも登場するなど、戦後もっとも幅の広い時代)

- 日本フォーマル協会設立
- 本物志向、エルメス調が大流行
- 麻素材スト、チェック、サッカー地、プレスコ、紗、羅織が台頭、人気を呼ぶ
- ネクタイ幅11cm～10cm

- 日本ネクタイ組合連合会が石原長官に抗議声明文を提出
- クラシックエレガンス主流
- 民族調、手作り風、民芸調、手描き等が出回る
- ネクタイ幅10.5～10cm(徐々に狭くなり始める)

- 東京ネクタイ協同組合設立30周年記念式典
- 公正取引委員会が百貨店の派遣店員廃止を通告
- 生糸相場高騰(1kg=1万5000円以上)

社会のうごき

- 東京都内でコンビニエンスストア「セブンイレブン」1号店オープン
- 国内初のボラロイドカメラ発売

- ベトナム戦争終結
- 山陽新幹線が博多まで開通
- エリザベス英女王来日
- 沖縄海洋博覧会開催
- カラーテレビがほぼ全世界に普及
- ポケットカメラ大流行

- ロッキード事件
- モントリオールオリンピック開催
- 天皇陛下御在位50年記念式典挙行
- 自動車運転免許保有者500万人増加し3,700万人に

- ピンクレディー人気
- 石原環境庁長官が「ネクタイ無用論」発言
- 読売巨人軍・王選手が756号のホームラン世界新記録を樹立
- ディスカウントショップ大盛況

- 新東京国際空港開港
- ディスコブーム
- カラオケブーム
- 日中平和友好条約締結
- 女性ドライバー1,000万人突破



百貨店の父の日ポスター



ウェンブリー社コンベンション(ニューオーリンズ)



百貨店の父の日ポスター

当社のあゆみ

昭和54年(1979年)

- 中国広州公易会に和田至弘出張
中国との技術研究により、本格的な手刺織ネクタイ「華鳳」(汕頭刺織)を開発
- 「フレームタイ」の実用新案申請、二重紗、ベルベット素材を使用し生産・販売
- 帝人より生地を導入し、「ハイレックタイ」を生産・販売
- 「金襴」をネクタイ用に開発、西陣織の代表格として「錦織」、「七彩箔」とともに販売し、人気を集める
- 「干支プリント」を企画・生産・販売開始、以後、シリーズで昭和61年「寅」まで続く
- 京都藤商事株式会社に開発依頼し、業界初のネクタイ芯の打ち抜き裁断を開始

昭和55年(1980年)

- 「ジュンアシダ」と契約、生産・販売を開始、注目を浴びる
以後、現在に至るまで25年間継続、超ビッグブランドに成長
- 「小島功」とライセンス契約、生産・販売開始
- カジュアル化の傾向の中で「カジュアルエイト」(ループタイ)を本格的に販売開始。
以後、5～6年間ブームを呼ぶ。その間、メタリック、七宝、貴石、半貴石を中心に、張亀甲、木彫、陶器、象牙、その他(株)トーアの「ニノリバ」、彫刻家「岩野勇三」、漫画家「小島功」のデザインもの、その他インポートもの等を幅広く販売する
- 「ウォッシュャブル」の研究および生産開始
- 競輪協会より特注を受注(5000本)

昭和56年(1981年)

- 大慶コンベンション(成和グループ幹部会)開催、以後平成11年(1999年)まで継続
- 「ハンナバーバラ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ギネスワールドレコード」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ウールブレンドマーク」の商標使用契約生産・販売開始
- 「タカオ・イケダ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「羅織」大ヒット生産・販売ピーク(シーズン約7万本生産)
- ネクタイスタイルの多様化により、芯地の打ち抜き裁断へ全面的に移行する



「ジュンアシダ」ネクタイ

業界のうごき

- プリントの輸入増加
- カジュアルファッション流行
- ネクタイ幅10cm～9cm
- 西陣織ネクタイ業者12社が政府の生糸一元化輸入による損害に関して、国を相手に損害賠償訴訟を起こす
- バスポートシャツ人気
- ニューヨークのデザイナーズブランド人気(ラルフローレン、ジョンワイツ、ペリーエリス等)
- 省エネルギー、ループタイが登場、省エネ最適品として脚光を浴びる
- ネクタイ幅9～8.5cm
- 竹の子族ファッション流行
- 衣料品のサイズ表示が統一される
- 紳士物傘に柄物が出回る
- ネクタイ幅8.5cm
- ボタンダウンシャツ流行
- マリノックブーム
- シルクロードブーム
- プリントから織物へ移行
- ストライプ主流
- 麻ネクタイ人気
- LLサイズの衣類等専門店登場
- ネクタイ幅8.3cm～8cm

社会のうごき

- 乗用車保有台数2,000万台突破
- ウォークマン登場
- インベーダーゲーム流行
- 先進国首脳会議東京サミット開催
- 政府は省エネルギー運動に関連し、ノーネクタイを提唱
- 日本が平均寿命世界一の長寿国となる(男性73.4歳、女性78.8歳)
- イギリス保守党圧勝、サッチャー女性首相誕生
- ルービックキューブブーム
- 漫オブーム
- モスクワオリンピック開催、ソ連のアフガニスタン侵攻に抗議し、日本は不参加
- 日本の自動車生産数が世界1位に躍進



「金襴」ネクタイ



納涼大会(本社ビル屋上)

当社のあゆみ

昭和57年(1982年)

- 手狭になった資料室を移転し、新資料室を本社3階に完成(製品資料約30,000点、関係蔵書類約20,000点所蔵)
- 「ニコル」とライセンス契約、業界初の本格DCブランドとして生産・販売開始、話題を呼ぶ。以後継続し現在に至る
- ウォッシュアップの「パーマリード」企画に参加、帝人株式会社と商標使用契約を結び生産・販売開始
- 「レナート・パレストラ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ボストンマラソン」とライセンス契約、生産・販売
- 「百人一首」プリントネクタイの企画を提案、人気を集める
- 「日本のタバコ」柄を専売公社の承認を得て企画・生産、父の日用に販売する
- 柞蚕糸使用のソフトシルク織タイを開発、以後、夏の定番品として拡販する
- 「パールトーン」加工と契約、販売を開始する(パールトーン加工はすぐれた撥水効果があり、シミや汚れも防ぎ、素材の風合いをそこなわず、半永久に効果を保つのが特徴)
- 「モアレー加工」復活、商品化して販売を開始

昭和58年(1983年)

- 沖縄の染織情況視察に和田卓郎出張
- 「メジャーリーグ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「麻混」ネクタイの生産・販売開始、大ヒット
- 「大阪21世紀計画」に参加、マーク入りネクタイを生産・販売
- 「ムツゴロウとゆかいな仲間たち」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ローランド」(バルベツタイ)を生産・販売開始

昭和59年(1984年)

- 日本ネクタイ組合連合会100周年記念シンボルマーク募集に応募し、成和が特賞入賞
- 「ウォークマン」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ニューポップ」、「ニューパーティーセット」、「秋の七草」の企画を提案
- 「阿波しじら」、「芭蕉布」を開発し、販売を開始
- 「草絵」を批田圭子と契約し、生産・販売
- 「LA's THE PLACE」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「アイビーリーグ」とライセンス契約、生産・販売開始



ニコルとライセンス契約



本社資料室



大阪21世紀計画ネクタイ

業界のうごき

- 東京コレクション人気
- DCブランド登場
- 白黒ファッション人気
- 黒の服で固めたカラス族登場
- MFUが「父の日・イエローリボン」キャンペーンを開始
- 黒とワインカラーのマフラーがヒット
- 太陽神戸銀行がサラリーマン家庭の衣類持ち物調査を実施(夫:背広9着、ワイシャツ16着、ネクタイ21本、妻:ワンピース・スーツ14着、スカート15着、着物11着)

- ソフトジャケット人気
- ネクタイ幅8cm

- 日本ネクタイ組合連合会が日本ネクタイ生産百周年記念式典と百年展を東京と京都で開催
- リネンジャケット人気
- マリニルックブーム
- ネクタイ幅8cm～7.5cm

社会のうごき

- 東北新幹線開業
- 上越新幹線開業
- 五百円硬貨発行
- テレフォンカードブーム

- 東京ディズニーランド開園
- NHK朝の連続ドラマ「おしん」人気
- 大阪築城400年まつり
- 大韓航空機がソ連のミサイル戦闘機に撃墜される
- レーガン大統領来日
- パソコン普及台数が100万台を突破

- グリコ・森永事件
- 韓国全斗煥大統領来日
- 一万円、五千円、千円の新紙幣を発行
- ガンジー印首相暗殺
- 通信販売が好調



百貨店の正月用干支ポスター



100周年記念シンボルマーク

当社のあゆみ

昭和60年(1985年)

- 設立30周年、創業50周年記念行事として
株式会社成和ネクタイ研究所を八王子市北野町に新築移転
得意先(成和会)親睦ゴルフコンペを芙蓉カントリークラブにて成和総会ゴルフコンペを伊豆伊東新日本ゴルフ場にて開催、あわせて成和グループ社員家族会を研究所にて開催
- 大阪店に本社と同様の資料室完成(製品資料約20,000点、関係蔵書類約10,000点所蔵)
- 第1回企画・営業コンベンション85A/W開催、以後年2シーズン各1回、平成3年(1991)まで計14回開催
- インターフェックス(国際ファッション博)に「ラガッツォ」を出展
- 「ノリコカズキ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「中村乃武夫」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「リチャードチェニー」とライセンス契約、生産・販売開始
- 成和オリジナル生地を開発・生産
- 「近江上布」をネクタイ用に開発、販売開始

昭和61年(1986年)

- 社員織物研修会を富士吉田、山梨県工業技術センターにて開催(甲州織物センター、繊維工業試験場他、関連織物工場、練糸工場等を見学)
- 高級絹織りネクタイのできるまで「ザ・ネクタイ」のビデオ作成、得意先他関係先に進呈
- JUN4D-BOXグラフィックコンピュータ導入
- 「NUNO」新井淳一と契約、新分野開発商品として生産・販売開始

昭和62年(1987年)

- 八王子市暁町に2階建ビルが完成、賃貸する
- '87A/Wコレクションを銀座ワシントンアートにて開催
- 「アッシェル(HL)」とライセンス契約、生産・販売開始



ネクタイ研究所新築落成披露
商工日日新聞取材記事



大阪資料室



暁町ビル竣工披露

業界のうごき

- 百貨店の自主MD活発
- ベイズリー柄ブーム
- ツータックパンツ主流
- フェミニンファッション流行
- モード調スリムネクタイ出まわり人気
- 高校の制服にプレザーブーム
- ネクタイ幅8cm～7.5cm

- 専門店でのPOSシステムが活発化
- 百貨店の営業時間が午後7時まで延長
- レトロブーム
- バレンタインデーの宣伝はじまる
- DCブランド、ソフトスーツのブームが始まる
- 韓国製プリントの輸入が増え始める
- ネクタイ幅8cm～7.5cm

- イタリアブランド人気
- 衣料品輸入激増
- アメカジ路線復活
- レザーウェア人気
- ニューリッチ層出現、本物志向強まる
- ネクタイ幅7.8cm～8cm

社会のうごき

- つくば科学万国博覧会開催
- 電電と専売公社が民営化、日本電信電話株式会社(NTT)と日本たばこ産業株式会社が発足
- 日航ジャンボ機墜落事故
- ファミコンブーム
- 阪神タイガースが21年ぶりに優勝、初の日本一となる
- 米ソ首脳会談

- 天皇在位60周年記念式典
歴代最長、最長寿を記録
- 衆参同日選挙で自民党圧勝
- 東京外国為替市場で1ドル=152円の最高値を記録、円高によるゴールドブーム
- 伊豆大島・三原山大噴火で、島民1万人が避難
- チェルノブイリ原発事故
- 厚生省は全国100歳以上の人口を2271人と発表(6年前と比べて倍増)

- 国鉄の分割・民営化、114年の歴史に幕を閉じた
- 竹下内閣誕生
- 戦後世代のスーパースター・石原裕次郎死去
- 株価大暴落



アメリカ・ウェンブリー社アーサー社長来社



社員織物研修会風景(富士吉田)



合同会議(大磯コンベンション)



第一回国際ファッション博に出展
(池袋サンシャイン)

昭和63年～平成2年

1988

1990

当社のあゆみ

昭和63年(1988年)

- 本社4階に「ザ・スペース」多目的ホールとして開設
- '88S/SコレクションをYMCAにて開催
- '88-'89F/Wコレクションをワシントンアートにて開催
- 「ヒルアスミス」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「モーム浅野」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ケンショウ・アベ・オム」とライセンス契約、生産販売開始



ザ・スペース(本社4階)

平成元年(1989年)

- 大阪店に常設ショールーム開設(大阪店3階)
- JR東日本特注ネクタイ2万本余を受注
- 社員研修会を富士吉田にて開催(製織、捺染、糸染め、整理等の工場を見学)
- '89-'90A/Wコレクションを銀座ワシントンアートにて開催、新しいライフスタイルに対応したニューパーティーグッズをトータル提案
- 「ルコアネ・エマン」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「クリスチャン・アストゥグヴェール」とライセンス契約、生産・販売開始



第七回社内コンベンション風景(昭和63年)



社員 X'masパーティー(YMCA)

平成2年(1990年)

- 設立35周年、創業55周年記念として成和会(得意先)親睦ゴルフコンペ及び成和陸会ゴルフコンペを武蔵富士カントリークラブにて開催、合せて北海道2泊3日の社員慰安旅行を行う、同じく記念事業の一環として各事業所の設備拡充を行う
 - ・本社に高性能グラフィックコンピュータ導入
 - ・研究所に最新鋭高速織機導入
 - ・茅ヶ崎縫製工場に自動裏付け機を導入
- '90-'91A/Wコレクション「Live Classic」を銀座ワシントンアートにて開催
- 「MY BOSS DAY」を商標登録
- 「ロイヤルコークヨットクラブ」とライセンス契約、生産・販売開始



ノリコズキコンベンション
ノリコズキ氏と(平成元年)

業界のうごき

- ソフトスーツブーム
- 日本ネクタイ組合連合会調査によると、昭和62年度全国ネクタイ生産量は5329万本(前年度比5.4%増)
- ネクタイ幅8cm

- 日本ネクタイ組合連合会がバレンタインデーの宣伝開始
- 黒朱子ネクタイ、喪章量産
- 生糸相場最高値を記録(1kg=15,400円)
- 白生地価格高騰
- 「新合織」が続々と登場
- エコロジーカラー流行
- 韓国製輸入増え500万本越える
- 日本ネクタイ組合連合会調査:昭和63年度ネクタイ生産量5622万本(前年比5.5%増)
- ネクタイ幅8cm~8.5cm、長さ138cm(広がり始める)

- エコロジー商品が大ブーム
- フローラル柄流行、プリント物が売れ始める
- アメリカンカジュアルブーム
- 日本ネクタイ組合連合会調査:平成元年度全国ネクタイ生産量5538万本(前年度比1.5%減)
- ネクタイ幅8.5cm~9cm、長さ138cm~139cm

社会のうごき

- 青函トンネル開業
- 瀬戸大橋開通
- イラン・イラク戦争停戦
- 税制改革、消費税導入
翌年4月より一律3%課税決定
- 韓国ソウルオリンピック開催
- プロ野球・南海ホークスがダイエーに、阪急ブレーブスがオリックスに身売り

- 昭和天皇崩御
祭やイベント等の自粛・中止
- 元号を「平成」と改元
- 消費税課税(3%)スタート
- 歌手の美空ひばり死去
- ベルリンの壁が28年ぶりに崩壊
- 相互銀行が普通銀行に転換
- 厚生省が長寿番付を発表、100歳以上が初めて3000人を突破

- 国際花と緑の博覧会が大阪で開催される
- スーパーファミコン発表、人気沸騰
- ペルー大統領に日系二世のアルベルト・フジモリ氏が当選
- ソ連の宇宙船ソユーズに秋山豊寛さんが日本人初の宇宙飛行
- バブル経済崩壊、円相場急落



成和町ビル落成新聞記事(昭和62年)



社員 X'masパーティー(YMCA)



成和グループ合同幹部会ゴルフコンペ
(湘南シーサイドCC)

当社のあゆみ

平成3年(1991年)

- 研究所代表取締役社長和田寛次死去、これに伴い研究所代表取締役に和田至弘(本社専務)が就任
- 株式会社シルクレックス設立し、不動産部門を成和株式会社から分離移行する
- '91-'92A/Wコレクション「RHIZOME」新宿スペースゼロにて開催
- 「良いネクタイ選定ポイント」アンケート調査実施
- 「TRADE SCOPE」(商社向情報誌)6月号に当社取材による日本のネクタイ業界の情報が掲載される
- 「ユキサプローフタナベ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「エンリカマッセイ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ニコルクラブ・フォー・メン」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「バルセロナオリンピック」とライセンス契約、生産・販売

平成4年(1992年)

- デザイン野口企画・野口貴弘氏と企画アドバイザーとして契約、以後継続し現在に至る
- '92-'93A/Wコレクション「不易流行」新宿スペースゼロにて開催
- 「TOKYO YOMIURI GIANTS」とライセンス契約、生産・販売開始

平成5年(1993年)

- 部課長セミナーを富士総合研究所に依頼し、平成11年(1999)まで継続して開催
- PL法対策として、各部署に検針機を導入、コンペアー型2台(日新電子工業ND-747型、サンコウ電子SF-300型)その他卓上型6台
- 「マージマサトモ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 二重紗プリント復活生産開始

業界のうごき

- 西陣織100周年
- プリント型サイズが50cm幅に移行
- 韓国産白生地が出回る
- ネイビーブレザーが大ヒット、トラディショナルブーム到来
- 中古ジーンズブーム
- ネクタイ幅8.5cm～9cm

- アウトレットストア人気
- フレンチカジュアル人気
- 日本ネクタイ組合連合会調査:平成3年度全国ネクタイ生産5645万本(過去最高記録、輸入も1000万本を突破して1285万本を記録)
- ネクタイ幅9cm、長さ139cm

- 韓国製輸入ピーク、年間1,337万本
- Jリーググッズ人気
- 古着スタイルブーム
- アニマル柄人気
- アイロンがけのいらぬワイシャツ(VP加工)が登場
- 日本ネクタイ組合連合会調査:平成4年度全国ネクタイ生産量5193万本(前年度比8%減、輸入品は24.8%増)

社会のうごき

- 湾岸戦争開戦
- 雲仙普賢岳大爆発
- 宮沢内閣発足
- ソ連崩壊、69年の歴史に幕を閉じる
- NTTが発行するテレホンカード年間で3億枚突破
- 新宿に新都庁舎完成

- 大相撲初場所で貴花田が史上最年少優勝
- オリンピック、バルセロナ大会開催
- PKO協力法による自衛隊初の海外派遣
- アメリカのスペースシャトル「エンデバー」に毛利衛宇宙飛行士が乗り組み実験を行う
- カラオケブーム到来、1兆円産業へ

- サッカー・Jリーグ開幕
- 不況深刻化
- 皇太子・小和田雅子様ご成婚
- 冷夏、豪雨の異常気象
- クリントン米大統領就任
- 55年体制崩壊、細川連立政権成立
- 東京外国為替市場1ドル=100円台に突入



TRADE SCOPE誌



バルセロナオリンピックネクタイ



「TOKYO YOMIURI GIANTS」のネクタイ



大阪店秋のレクリエーション(伊勢戦国時代村)



社員花見会(靖国神社)

当社のあゆみ

平成6年(1994年)

- 小冊子、慣用語「西陣織屋ことば」を作成、社員に配布、また、翌年の設立40周年記念A/W総合展にて来客にも粗品として進呈
- 小冊子「会社における基本マナー」を作成、全社員に配布
- JUN POWER Macグラフィックコンピュータに入れ替え
- 機能性ネクタイの開発に力を入れる(撥水、防シワ、形態安定など)



慣用語「西陣織屋ことば」

平成7年(1995年)

- 創業60周年(設立40周年)記念総合展'95-'96A/Wコレクション「誠」を五反田ガレリアにて開催
- 創業60周年(設立40周年)記念事業の一環として「機」資料館開設、合わせて初代代表取締役・故和田全弘のレリーフを作成、成和グループ全従業員より寄贈
- 阪神淡路大震災により大阪店被害修復工事を行う
会社及び成和グループ全社員より義援金を赤十字に寄付
- 緊急時における対策マニュアル作成
- 「ウォッシュャブルネクタイ」の実用新案登録
- オーガンジープリント復活生産
- 「クラウンモナコ」とライセンス契約、生産・販売開始



「機」資料館の紹介記事

平成8年(1996年)

- 「フライデークラブ」とライセンス契約
カラー無地タイのみの展示会を開催、大好評で他社を圧倒、カラーシャツブームにのって人気を呼び、現在も継続中
- 「MUCHA」とライセンス契約、百貨店ルートにて販売
- 「クリーンスカイ」(防菌消臭加工)を開発、商標使用認可を受け、生産・販売開始
- 「クリスチャン・ケンス」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「クリスチャン・モネ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「タケオニシダ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「チェックメイトクラブ」とライセンス契約、生産・販売開始



「機」資料館開設



和田全弘のレリーフ贈呈(「機」資料館)

業界のうごき

- 量販価格2900円～3900円が中心に
- 三ツ釦スーツ人気
- 形態安定加工シャツ人気
- イエローカラーブーム
- センター柄、バーチカル柄、ホリゾン柄、ヤスラチェック人気
- 東京コレクションに新人デザイナーが大量デビュー
- ネクタイ幅9cm～9.5cm、長さ140cm(平成15年頃までこのサイズで安定)

- 海外ブランド人気沸騰
- 意匠糸使い、ジャガードが増える
- タイラック1号店が東京駅にオープン
- フライデーカジュアル提唱
- 日本ネクタイ組合連合会で絹婚式の宣伝を開始
- 日本ネクタイ組合連合会調査:平成6年度全国ネクタイ生産量4518万本(前年度比13.6%減少、5000万本を割る)
- ネクタイ幅9.5cm

- カラーシャツブーム
マイクロパターン、カラー無地タイが好評
- 超ロングマフラー、プチマフラーが流行
- 日本ネクタイ組合連合会調査:平成7年度全国ネクタイ生産量4008万本(前年度比11.3%減)
- ネクタイ幅9.5cm

社会のうごき

- 関西国際空港開港
- PL法成立
- 東京外国為替市場1ドル=97円の円高
- 記録的猛暑で水不足、米不作
- 政治改革法案成立、小選挙区比例代表並立制導入
- 羽田内閣成立
- 大江健三郎氏がノーベル文学賞を受賞
- 村山連立内閣成立

- 阪神淡路大震災
- 東京外国為替市場1ドル=79.75円と、円が高騰
- 青島東京都知事誕生
- プロ野球・近鉄野茂投手が米大リーグに移籍し、大活躍
- 東京地下鉄サリン事件
- PL法施行
- 海外での結婚式が急増、3万5000組(前年比8000組増で平成2年の約3倍)

- ガーデニングブーム始まる
- アトランタオリンピック開催
- O-157食中毒が猛威をふるう
- 橋本(自・社・さ)連立内閣成立
- エイズ薬害問題で菅厚生相が謝罪、国の責任を認める
- 柔道の国際試合でカラー柔道着の導入が決定



正面フロア



1階展示室



2階展示室

「機」資料館



フライデークラブ展示会(本社ザ・スペース)

当社のあゆみ

平成9年(1997年)

- 「ジュニアシダ」の年間生産量16万本、高額品として過去最高を記録
- 「エコベット」、「ヘルツ」(電磁波軽減)を開発、商標使用の認可を受け、生産・販売開始

平成10年(1998年)

- '99S/SコレクションETERNAL WHITEを開催(ザ・スペース)
- 「フランコ・フェラーロ」とライセンス契約、生産・販売開始

平成11年(1999)

- 機構改革実施
- A/Wモード展をザ・スペースにて開催
- 「NHK歳末たすけあい」に募金協力
- ジャパンクリエイションに出展(東京ビッグサイト)、以後、現在まで継続出展
- 中国杭州ネクタイ産地の情況視察を重ね、本格的に生産・輸入を始める
- 「ロイヤルドルトン」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「GRAY LAVEL by PASHU」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「C.G.CECIL GEE」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「FINAL YEAR 2000」とライセンス契約し、展示会開催の上、生産・販売



フランコ・フェラーロ氏来社(模・資料館)



合同部課長セミナー(有楽町国際フォーラム)



ジャパンクリエイション(東京ビッグサイト)

業界のうごき

- カラー無地タイ人気
- アニメキャラクターネクタイ続々登場、人気
- 東京ネクタイ協同組合創立50周年記念式典開催
- アパレル業界不況、倒産・廃業が相次ぐ
- 成田空港で偽ブランド商品2万9000点を没収
- 紳士服チェーン店の下取りセールが話題になる
- 関西ネクタイ商工業協同組合設立50周年記念式典開催
- ベットボトル再生糸を使用した制服が発表される
- フォークロアファッションブーム
- 中国製輸入急増、1359万本を記録、総輸入ネクタイの50%を超える

社会のうごき

- 消費税を3%から5%に改正
- 大阪ドーム球場、名古屋ドーム球場完成オープン
- 香港が中国に復帰
- 秋田新幹線「こまち」、長野新幹線「あさま」開業
- 東京湾アクアライン(川崎～木更津間)開通
- ペルー日本大使公邸人質事件
- 長野冬季オリンピック開催
日本選手は金5個、銀1個、銅4個のメダルを獲得
- 郵便番号7ケタ制実施
- 経済政策の失敗により、橋本内閣総辞職
- 向井千秋さんが乗り組んだアメリカのスペースシャトル「ディスカバリー」は打ち上げに成功、無事帰還
- 東京外国為替市場1ドル=147円、円安進行
- 欧州に単一通貨(ユーロ)誕生
- 東急百貨店日本橋店が336年の歴史に幕を閉じる
- 東京都知事に石原慎太郎氏が初当選
- 国旗国家法成立
- 携帯電話の加入数が4000万台を突破
- マカオが中国に返還される
- 東京お台場にショッピングモール「ヴィーナズフォート」オープン



年末社員頑張ろう会

当社のあゆみ

平成12年(2000年)

- 和田卓郎、長年のネクタイ業界への功績が認められ、東京都功労者表彰(知事表彰)を授与される。あわせて全従業員より古希の祝を贈呈される
- 大阪ギフトショー(インテックス大阪)に株式会社トーアと同一テーマで共同出展 新規分野開拓を行う
- 「涼感ネクタイ」を実用新案登録、生産・販売開始
- 「ドリームセンチュリー21」とライセンス契約し、展示会を開催の上、生産・販売
- 「プリティッシュホースライディング」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ナチュラルレーベル」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ボディゾーン」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「WWW、ハイパーワンドットコム」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「ALPH CUBIC」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「トイズクラブ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「Pm by PERSONS」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「BARAKURA」とライセンス契約、生産・販売開始

平成13年(2001年)

- 東京ニットファッション健康保険組合主催の野球大会で優勝
- 「ボルサリーノ」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「MAJI MAJI」とライセンス契約、生産・販売開始

平成14年(2002年)

- 社員縫製研修会を開催
- 「マリクレール」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「HARVIE&HUDSON」とライセンス契約、生産・販売開始
- 「PATTI PATTI」とライセンス契約、生産・販売開始



二代目社長 東京都功労者表彰を授与



大阪ギフトショー(インテックス大阪)



東京ニットファッション健康の野球大会で優勝

業界のうごき

- ユニクロのフリース人気
- GAP、無印良品に注目が集まる
- 大手スーパーが年中無休営業に踏み切る
- インターネット販売業者急増
- 御殿場のプレミアム・アウトレット開業、アウトレットブームのさざし
- 古着のリメイク人気
- レーヨンの生産停止
- 輸入量が全生産の5割を超え、韓国製に代わって中国製が増える
- 千葉市に小売業世界NO.2のスーパーチェーン「カルフル」(仏)の日本1号店オープン

- 迷彩柄、アニマル柄、人気
- ネクタイ、ワイシャツ業界の倒産が相次ぐ
- イタリアンクラシコ調ブーム
- 10月1日(ネクタイの日)、日本ネクタイ組合連合会は小泉総理に首相の肖像であるLion Heartのパネル柄紋織ネクタイを贈呈
- マイカル民事再生法

- 業界の倒産、廃業が続く
- 東京ネクタイ組合会館閉鎖
- ネクタイ幅9.5cm~9cm(ややスリム化)の傾向が出るも、まだ中心は9.5cm)

社会のうごき

- 二千円札、新五百円硬貨発行
- 小淵首相が倒れ、森連立内閣発足
- 有珠山と三宅島が噴火
- シドニーオリンピックで女子マラソンの高橋尚子が金メダルを獲得
- 日銀がゼロ金利政策を解除
- 衆院選で自公保は後退、民主が躍進する
- プーチンがロシア大統領に当選
- 台湾総統に陳水扁が当選
- 南北朝鮮首脳会談
- 沖縄サミット開催
- ブッシュ氏がアメリカ大統領に当選
- そごう百貨店倒産
- 読売巨人軍6年ぶりの日本一
- 白川英樹筑波大学名誉教授がノーベル化学賞を受賞

- 不況深刻化 株価急落、失業率5%台
- 元オリックス・イチロー選手がアメリカ大リーグで活躍
- アメリカ中枢同時多発テロ
- 小泉内閣発足
- 高橋尚子選手がベルリン女子マラソンで世界新記録

- ソルトレイクシティ冬季オリンピック開催
- 倒産相次ぐ(失業率5.5%で最悪水準)
- 住民基本台帳ネットワーク稼動
- 日朝首脳会談により、拉致被害者5人が帰国



「ライオンハート」を贈める小泉首相(平成13年)

当社のあゆみ

平成15年(2003年)

- 成和株式会社ホームページ開設
http://www.seiwa-nw.com
- 西印度諸島海島綿協会とメンズとは別にレディースアイテムのライセンス契約
- 社員織物研修会を開催
- 「Ko OLina」とライセンス契約
- 「DIANNE BEAUTY」とライセンス契約、生産・販売開始
- ニューワンタッチタイ「気分楽々」を日本と中国で実用新案特許申請、生産・販売開始



ニューワンタッチ「気分楽々」のパンフレット

平成16年(2004年)

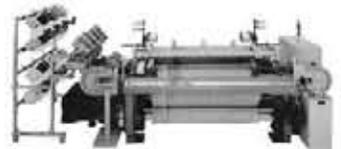
- 和田卓郎の代表取締役会長就任に伴い、代表取締役社長に和田匡生が就任
- 大阪商工会議所主催、第5回「買いませ!売れ筋商品発掘市」に参加(マイドーム大阪)、異業種専門店等の売り先開発をはかる
- プレミアムインセンティブショーに出展(池袋サンシャイン)
- いきいき大阪中小企業フェスタ2004に出展(マイドーム大阪)
- 「ROBERT STOCK」とライセンス契約
- 「るるぶ」、「おとなの旅時間」とライセンス契約



三代目社長・和田匡生就任挨拶

平成17年(2005年)

- 組織改革実施
- 設立50周年(創業70周年)記念「50年史」発刊、および記念事業の一環として各事業所に設備投資を計画、研究所に新織機及び電子ジャガード等を導入(スルザーテキスタイルG6500、ストーブリCX870他)
- IFF(インターナショナルファッションフェア)に出展(東京ビッグサイト)



スルザーテキスタイルG6500



ストーブリCX870

業界のうごき

- 価格の下落が続く(平成12年頃から)
- 国産が減少、輸入が全体の約7割と急増する
- ネクタイ組合の活動が大幅に減少
- 伊勢丹新宿店メンズ館がオープンし、話題を呼ぶ
- 韓国製に代わって、中国製輸入2,589万本と最高を記録、輸入ネクタイの80%以上を占める
- ネクタイ幅9.3cm～9cm
- 外国為替相場は円高が進み、中国品の輸入が増える
- ダイエーは自己再生ができず、産業再生法に委ねる
- ネクタイ幅9cm(徐々に狭くなる)
- タイ幅が多様化、スリムタイも出回る
- 西印度諸島海島綿協会設立30周年記念

社会のうごき

- 日韓共催サッカーワールドカップ開催
- 欧州単一通貨ユーロの現金流通開始
- ノーベル賞初のダブル受賞
- 英、米によるイラク戦争勃発
- 新型肺炎(SARS)が世界的に流行、死者700人以上
- 世界各地で爆弾テロが続発
- 有事関連法成立
- イラク復興特別措置法成立
- 自衛隊派遣
- 松井秀喜選手が大リーグで活躍
- 阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝、タイガースグッズ人気沸騰
- アテネオリンピック開催、日本選手が活躍し、メダル獲得数は過去最高
- マリナーズ・イチロー選手がアメリカ大リーグで年間安打数新記録を達成
- 台風の日本列島上陸回数が計測史上最多となり、各地で水害が相次ぐ
- 新潟中越地震、スマトラ島沖地震など大災害が多発
- 郵政民営化論争白熱
- 中部国際空港開港
- 2005年日本国際博覧会(愛知万博)「愛・地球博」開幕

第2章

成和50年の歩み

創業70年・設立50年

50

展示会／協賛展示会

記念行事

成和睦会

社員慰安旅行

成和展示会

「伝統」と「革新」確かなものを創り続け——
 ニューアイデアをここに結集。



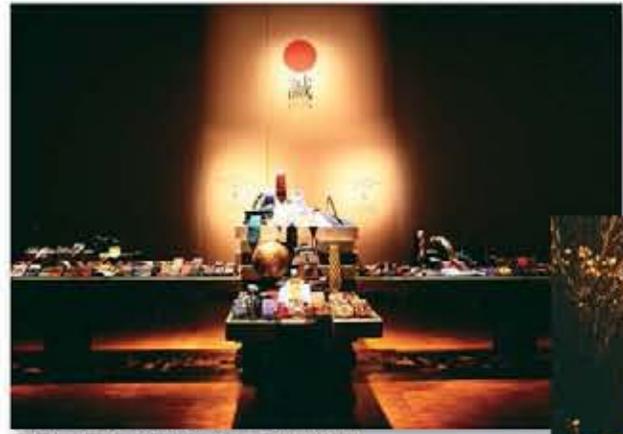
平成3年 '91~'92A/Wコレクション「RHIZOME」(新宿スペースゼロ)



昭和40年 設立10周年(東京会場) 設立10周年(大阪会場) 昭和60年 設立30周年(本社ビル)



平成4年 '91~'92A/Wコレクション「不易流行」(新宿スペースゼロ)



設立40周年(創立60周年)記念総合展
 平成7年 '95~'96A/Wコレクション「誠」(五反田ガレリア)



平成11年 '99 FINAL YEAR 2000展示会(本社ビルザ・スペース)

協賛展示会 異業種間の交流を深め未来へメッセージを発信。



平成13年(2001年)ジャパンクリエーション



平成12年(2000年)大阪ギフトショー／(株)トーア共同出展



昭和60年(1985年)インターフェックス東京'86



平成12年(2000年)ジャパンクリエーション



平成16年(2004年)いきいき大阪中小企業フェスタ2004



平成16年(2004年)ジャパンクリエーション



平成16年(2004年)プレミアムインセンティブショー



平成17年(2005年)国際ファッションフェア

記念行事

常に“人の和”“取引先との和”をモットーに。



昭和62年(1987年) 映町ビル竣工披露



平成2年(1990年)成和会ゴルフコンペ(創業55周年/設立35周年記念)



平成7年(1995年)「機」資料館落成記念披露(創業60年/研究所新社屋10周年記念)

成和陸会

仕入先の協力があつてこそ
新商品の企画が可能に。



昭和41年(1966年) 飯坂温泉(陸会発足時の旅行会)



昭和56年(1981年) 草津温泉



昭和60年(1985年) 伊東温泉よねかわ荘(創業50周年/設立30周年記念)



昭和46年(1971年) 鳥羽戸田家別館



平成2年(1990年) 成和陸会ゴルフコンペ(創業55周年/設立35周年記念)

社員慰安旅行

創業より受け継がれた“人の和”
全社員の融和があってこそ現在の成和がある。



昭和31年(1956年) 熱海静観荘



昭和34年(1959年) 箱根強羅ホテル



昭和38年(1963年) 日光・川治温泉



昭和45年(1970年) 熱海金城館(設立15周年記念・成和グループ合同)



昭和50年(1975年) 那須ロイヤルホテル(設立20周年記念)



昭和58年(1983年) 金沢兼六園



平成2年(1990年) 北海道・昭和新山(設立35周年記念)



平成11年(1999年) 上諏訪温泉・諏訪湖

歷代社章



昭和30年製作



昭和46年製作



昭和62年製作

第3章

成和50年の歩み

創業70年・設立50年

50

資料編

日本におけるネクタイ流行の変遷

明治30年頃



明治35年頃



昭和初期～昭和20年



昭和27年～昭和34年



明治37年頃



明治40年頃



昭和20年～昭和40年



大正7年頃



大正8年頃



大正時代



昭和20年～昭和40年



昭和41年



東京ネクタイ組合資料より

当社の代表作品

創業以来の「アイデア」と「技術」の結集をここに紹介します。

昭和32年(1957)～昭和51年(1976)



昭和52年(1977)～平成16年(2004)

◆一部年表中で紹介したものもありますが、紙面の都合上掲載できなかったヒット商品、話題商品も多々あります。
 ◆生産開始と実際の販売年、話題になった年とはズレのあるものもあります。



昭和52年
1977

趣味タイ各種



レノクール



海島純



昭和60年
1985

近江上布



昭和61年
1986

「NUNO」新井淳一



昭和54年
1979

フレームタイ各種



昭和55年
1980

小島功



昭和56年
1981

ギネス



平成4年
1991

TOKYO YOMIURI GIANTS



平成8年
1995

ミュシャ



平成11年
1998

ファイナルイヤー2000



昭和57年
1982

百人一首



日本のタバコ



ポストンマラソン



平成12年
1999

ドリームセンチュリー21



バラクライングリッシュガーデン



ロイヤルドルトン



昭和58年
1983

ムツゴロウとゆかいな仲間たち



昭和59年
1984

阿波しじら



芭蕉布



トイズクラブ



平成16年
2004

絆街遺浪漫

新年歌会始の御題テーマネクタイ

(昭和35年～昭和63年)



皇居における新年歌会始の御題をテーマとしたデザインネクタイが好評!

当社では昭和35年「光」から昭和63年「車」まで、29年間の永きに亘り歌会始・御題のテーマネクタイを生産。八王子の当成和ネクタイ研究所の看板商品とも言えるシルクの高級織物として、特に百貨店の正月初売り商品として好評を博しました。

◆歌会始の御題 (昭和22年から)

昭和22年(1947) あけぼの	昭和43年(1968) 川	平成元年(1989) (取りやめ)
昭和23年(1948) 春山	昭和44年(1969) 星	平成2年(1990) 晴(昭和天皇御即位歌会)
昭和24年(1949) 朝雪	昭和45年(1970) 花	平成3年(1991) 森
昭和25年(1950) 若草	昭和46年(1971) 家	平成4年(1992) 風
昭和26年(1951) 朝空	昭和47年(1972) 山	平成5年(1993) 空
昭和27年(1952) (取りやめ)	昭和48年(1973) 子ども	平成6年(1994) 波
昭和28年(1953) 船出	昭和49年(1974) 朝	平成7年(1995) 歌
昭和29年(1954) 林	昭和50年(1975) 祭	平成8年(1996) 苗
昭和30年(1955) 泉	昭和51年(1976) 坂	平成9年(1997) 姿
昭和31年(1956) 早春	昭和52年(1977) 海	平成10年(1998) 道
昭和32年(1957) ともしび	昭和53年(1978) 母	平成11年(1999) 宵
昭和33年(1958) 雲	昭和54年(1979) 丘	平成12年(2000) 時
昭和34年(1959) 窓	昭和55年(1980) 桜	平成13年(2001) 草
昭和35年(1960) 光	昭和56年(1981) 音	平成14年(2002) 春
昭和36年(1961) 若	昭和57年(1982) 橋	平成15年(2003) 町
昭和37年(1962) 土	昭和58年(1983) 鳥	平成16年(2004) 幸
昭和38年(1963) 草原	昭和59年(1984) 緑	平成17年(2005) 歩み
昭和39年(1964) 紙	昭和60年(1985) 旅	
昭和40年(1965) 鳥	昭和61年(1986) 水	
昭和41年(1966) 声	昭和62年(1987) 木	
昭和42年(1967) 魚	昭和63年(1988) 車	

※宮内庁発表

◆取得商標登録一覧表

区分	商標	出願日	登録番号	登録日	備考
36	REX レックス	昭和26年10月20日	441247	昭和29年2月27日	平成8年4月15日 失効
36	WOOLREX	昭和26年10月20日	454052	昭和29年10月26日	
36	ゼファー-BRAND	昭和32年4月6日	518442	昭和33年4月15日	平成7年7月15日 (株)ターバンへ譲渡
17	ROYTOUCH ロイタッチ	昭和37年6月11日	1880736	昭和61年8月26日	昭和59年 再出願
17		昭和37年12月17日	648576	昭和39年7月25日	
17	SETAREX セタレックス	昭和48年2月15日	1194138	昭和51年4月12日	昭和48年 復活出願
17	誕生日おしゃれ花シリーズ	昭和48年6月14日	1236637	昭和51年12月3日	
17	PAREX CLUB パレックスクラブ	昭和55年3月10日	1622708	昭和58年10月27日	
17	REXY レキシ-	昭和55年11月14日	1637979	昭和58年11月25日	
17	RAGAZZO ラガッツオ	昭和57年6月24日	1744140	昭和60年2月27日	
17	REXY レクシー(連合)	昭和59年11月27日	1917959	昭和61年12月24日	
17		昭和61年4月7日	2199376	平成元年12月25日	
17	PAREX SPORTS CLUBパレックススポーツクラブ	昭和63年2月2日	2247994	平成2年7月30日	
17	絹街道浪漫	昭和63年2月12日	2232375	平成2年5月31日	
25他	PRIVATE SCENE	昭和63年10月14日	2303137	平成3年3月29日	
25他	COEUR DE SOIE クールドゥ ソフ	平成元年3月9日	2379505	平成4年2月28日	
17	MY BOSS DAY	平成2年5月8日	2628953	平成6年2月28日	
25	SILK REX	平成6年7月4日	3257561	平成9年2月24日	
25	成和株式会社	平成10年7月29日	4297696	平成11年7月23日	
25		平成10年8月5日	4447949	平成13年1月26日	
25	SETALIC セタリック	平成11年3月16日	4360743	平成12年2月10日	

◆特許一覧表

特許の種類	出願内容	出願日	登録日	登録番号	備 考
意匠登録	頸飾(マフラー)2件 (大剣、小剣の太さの違うアスコットタイ)	昭和32年3月18日	昭和35年6月30日	164233	
実用新案	ネクタイ用錠片 (ネクタイの裾に金属の薄板で作られた丸型の錠片)	昭和32年6月29日	昭和35年6月14日	514113	
意匠登録	ネクタイ意匠(ボカシ切替柄)	昭和33年2月26日	昭和33年7月30日	139855	
意匠登録	ネクタイ意匠(サッカー胸柄)	昭和33年2月26日	昭和33年7月30日	139856	
実用新案	ネクタイ(編目織の表地内に光輝片を揃着した編目状の芯地使用により光輝片を編目から透視出来るもの)	昭和33年2月28日	昭和35年3月30日	510630	
実用新案	ネクタイ(同上の中芯に織成、吹付け、染色、貼着等により、金糸、銀糸あるいは着色物による芯地使用したもの)	昭和33年3月28日	昭和35年3月30日	510632	
意匠登録	ネクタイ掛	昭和33年12月13日	昭和34年7月17日	152073	
実用新案	ネクタイ成型懸吊具	昭和33年12月17日	昭和36年4月11日	533950	
実用新案	ネクタイ(表面に異色の裏生地を重合したもの)	昭和34年12月23日			審査未請求
実用新案	ネクタイ(原色三重層)	昭和35年4月14日			審査未請求
実用新案	ネクタイ (合成樹脂繊維等を紗状に織成したもの…二重紗)	昭和35年4月15日			審査未請求
実用新案	二重嵌合 ネクタイ2件	昭和36年7月22日			審査未請求
実用新案	図柄体貼着ネクタイ	昭和36年7月22日			審査未請求
実用新案	透かし模様ネクタイ	昭和36年7月22日			審査未請求
意匠登録	ネクタイ(カットスタイル蝶ダビー)	昭和37年5月8日			審査未請求
実用新案	ネクタイ(構造ダイヤ付)	昭和37年5月26日			昭和38年8月23日 拒絶
実用新案	ネクタイ (表面に絞って突出させ絞りに光輝物等を固定する)	昭和37年5月26日	昭和39年6月15日	740654	
実用新案	衣服、装身具等のラベル(止針付)	昭和37年12月15日			審査未請求
実用新案	ネクタイ2件(小剣にモ型)	昭和37年12月15日			昭和38年8月23日 拒絶
実用新案	ネクタイの揺動防止具	昭和37年12月15日			昭和38年10月1日 拒絶
意匠登録	ネクタイ(大剣角、小剣ヒモスタイル)	昭和37年12月17日			審査未請求
意匠登録	ネクタイ(大剣剣先、小剣ヒモスタイル)	昭和37年12月17日			審査未請求
実用新案	表示板3件(止メ具付ラベル)	昭和38年3月28日			審査未請求
実用新案	挿入型ネクタイ	昭和38年4月10日	昭和40年4月3日	767320	
特 許	ネクタイの結び目部を製造する方法(ロイヤルノット)	昭和38年4月25日	昭和40年5月18日	448467	広島県 三兼一三氏考案
意匠登録	マフラー(装着簡易マジックテープ付アスコットタイ)	昭和38年6月1日	昭和38年12月16日	232571	

特許の種類	出願内容	出願日	登録日	登録番号	備 考
意匠登録	ネクタイ型マフラー(タイコット)	昭和38年6月1日	昭和38年12月16日	232571	
実用新案	簡易マフラー	昭和38年6月21日			審査未請求
実用新案	マフラー(バイヤス縫製剣先スタイル)	昭和38年8月3日			昭和38年5月31日 拒絶
特 許	ネクタイの結び目部を製造する方法(英国出願)	昭和38年9月26日			審査未請求
特 許	ネクタイの結び目部を製造する方法(米国出願)	昭和38年9月30日	昭和42年5月2日	3317364	広島県 三兼一三氏考案
実用新案	ネクタイ(織組織)	昭和39年4月24日			昭和42年2月17日 拒絶
実用新案	装飾体吊下げ簡易ネクタイ	昭和40年3月23日			昭和42年4月21日 拒絶
実用新案	ネクタイ (大剣胸部分の切込みに小剣を表に差し込むもの)	昭和41年7月20日	昭和44年6月30日	876766	
実用新案	簡易脱着ネクタイ	昭和41年7月20日			昭和42年6月16日 拒絶
実用新案 特 許 商標登録	ループタイの独占製造販売権(日本国内)		昭和44年3月15日 (契約日)		(株)堀井と契約
実用新案	ネクタイ結び止具	昭和48年2月28日			昭和49年10月31日 拒絶
意匠登録	ネクタイ(誕生花12柄)	昭和48年6月14日	昭和51年12月3日	1236637	
実用新案	アスコットタイ(装着簡易マジックテープ付)	昭和54年7月20日			昭和57年9月14日 拒絶
実用新案	ネクタイ(ワンタッチループタイ)	昭和54年7月20日			昭和57年9月21日 拒絶
実用新案	二重紗織ネクタイ	昭和54年12月3日			昭和59年5月25日 拒絶
実用新案	ループタイ(二本紐ワンタッチ)	昭和55年3月10日	昭和60年8月29日	1607081	
実用新案	ネクタイ(二重紗)	昭和56年9月19日			審査未請求
実用新案	ネクタイ(縫製方法)	昭和56年11月27日			審査未請求
実用新案	ネクタイ (紗、オーガンジー等薄地と通常生地の二枚重ね加工)	昭和57年1月22日			昭和61年7月30日 拒絶
特 許	ネクタイ(縫製方法)	昭和60年8月9日			昭和61年6月17日 拒絶
実用新案	ネクタイ (リバーシブル仕立、大剣先2枚開きポケットチーフ兼用ネクタイ)	昭和62年9月14日			平成3年5月24日 拒絶
実用新案	飾りハンカチ	昭和63年1月13日			平成3年7月10日 拒絶
実用新案	ネクタイ(接着シートによるウォッシュアップルタイ)	平成7年7月14日	平成7年11月1日	3020519	
実用新案	ネクタイ (中ハギの部分にメッシュ生地と通気の良い芯地使用したもの)	平成12年8月11日	平成12年11月29日	3075590	
特 許	活套式領帯(ループタイ)	平成13年4月18日			中国
特 許	ループタイ(ニューワンタッチ気分楽々)	平成13年7月5日			

会社概要

成和株式会社

SEIWA NECKWEAR CO.,LTD.

本社 東京都千代田区神田司町2丁目7番地
 03-3293-2551
 大阪店 大阪市中央区博労町2丁目3番6号
 06-6271-0780
 製織工場 八王子市北野町518番地2
 0426-44-5233
 丸服ラザル 東京都千代田区九段南2丁目2番3号
 03-3261-1984
 成和ビル 八王子市睦町1丁目31番16号
 事業内容 ネクタイ、マフラー等の服飾品の製造販売並びに輸出入
 代表者 代表取締役会長 和田卓郎
 代表取締役社長 和田匡生
 会社設立 昭和30年1月(1955)創業昭和10年10月(1935)
 資本金 4,174万5千円
 取引銀行 みずほ銀行浅草橋支店 東京三菱銀行神田支店
 三井住友銀行神田支店
 従業員数 57名
 販売先 ネクタイ、マフラー専門問屋、アパレル、その他
 仕入先 成和ネクタイ研究所、西陣、八王子、山梨などの各産地
 及び海外より輸入他。
 登録商標 シルクレックス、ロイタッチ、パレックスクラブ、レキシー、
 ラガッツオ 他多数。
 設備概要 本社 敷地 175平方メートル
 建物 地上6階建地下1階付
 延 1,200平方メートル
 大阪店 敷地 247平方メートル
 建物 3階建
 延 560平方メートル
 機資料館 建物 2階建
 (八王子) 延 430平方メートル
 茅ヶ崎 敷地 313平方メートル
 所属団体 東京ネクタイ協同組合
 関西ネクタイ商工業協同組合
 八王子織物協同組合
 東京商工会議所
 大阪商工会議所
 日本ファッション協会
 日本メンズファッション協会
 日本流行色協会

成和建地株式会社

所在地 東京都千代田区神田司町2丁目7番地
 会社設立 昭和35年2月6日
 事業目的 不動産売買賃貸及仲介業
 金銭貸付業
 資本金 1,000万円
 代表者 取締役社長 和田卓郎

株式会社成和ネクタイ研究所

所在地 八王子市北野町518番地2
 0426-44-6233 5234
 0426-45-2349
 会社設立 昭和40年2月 成和株式会社より分離独立
 (創業昭和31年10月)
 資本金 1,000万円
 代表者 取締役会長 和田卓郎
 取締役社長 和田至弘
 製造品目 高級本絹ネクタイ生地、高級本絹マフラー
 生地等を製織
 生産能力 月産 ネクタイ生地 約4万本
 従業員数 17名
 取引銀行 みずほ銀行浅草橋支店、八王子支店
 設備概要 敷地 3,960平方メートル
 建物 1,320平方メートル
 織機 ERレピアアルーム 16台
 スルザーテキスタイルG6500 2台
 TAVレピアアルーム 6台
 ジャガード 村田MZ348型 18台
 カヤバ電子ジャガード 1台
 ストープリxCX870 5台
 整経機 柿木式HB-D型 1台
 ワインダー村田式 その他、製織設備一式
 所属団体 八王子織物工業組合
 東京商工会議所
 八王子商工会議所

株式会社シルクレックス

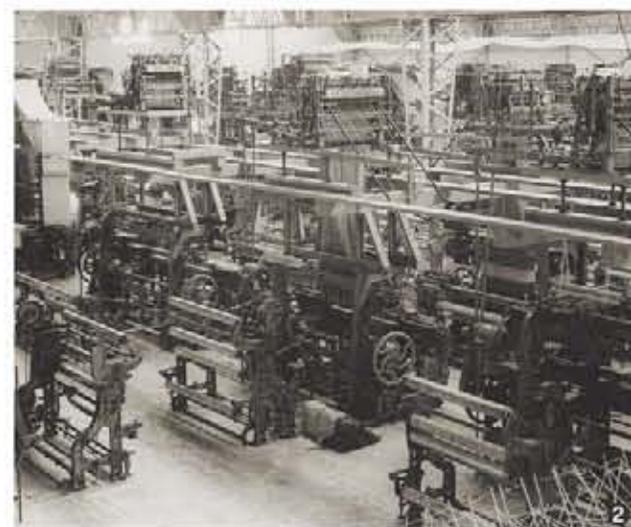
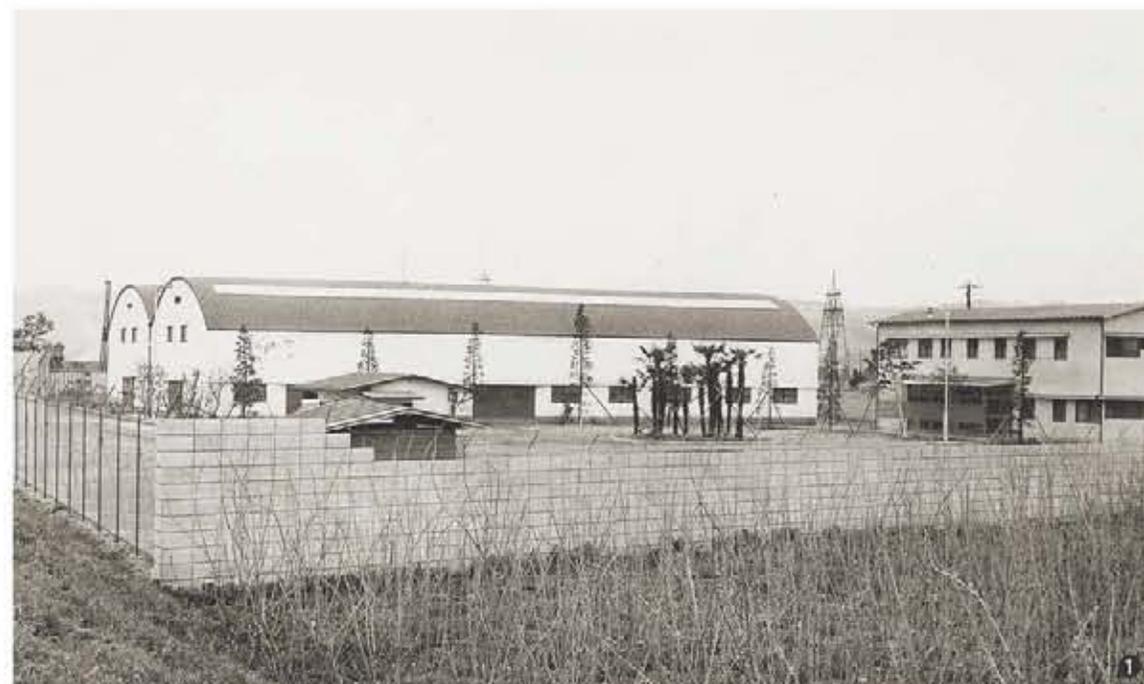
所在地 東京都千代田区神田司町2丁目7番地
 会社設立 平成3年11月25日
 事業目的 不動産の売買、賃貸、仲介及び管理
 有価証券の売買、保有及び運用
 不動産(消耗品を除く)の賃貸業
 資本金 6,800万円
 代表者 取締役社長 和田卓郎
 設備概要 九段 敷地 420平方メートル
 (ラザル) 建物 地上9階建地下1階付
 延 2,912平方メートル
 八王子 敷地 1,830平方メートル
 (成和ビル) 建物 2階建
 延 1,380平方メートル

◆歴代役員

役職	氏名	任期	備考
会長	和田卓郎	平成16年4月～	代表
社長	和田全弘	昭和30年1月～昭和53年4月	代表(初代)兼研究所社長
	和田卓郎	昭和53年4月～平成16年4月	代表(2代目)兼研究所会長
	和田匡生	平成16年4月～	代表(3代目)
専務	浜口徹二	昭和30年1月～昭和32年3月	
	和田卓郎	昭和34年3月～昭和53年4月	
	和田寛次	昭和53年4月～平成3年11月	兼研究所社長
	和田至弘	平成3年11月～	兼研究所社長
常務	和田寛次	昭和30年1月～昭和53年4月	
	和田至弘	昭和53年4月～平成3年11月	
	和田匡生	平成13年8月～平成16年4月	
取締役	三黄馨	昭和30年1月～昭和36年4月	
	河村匡庸	昭和30年1月～昭和36年4月	
	橋本繁男	昭和36年4月～昭和62年7月	
	和田正雄	昭和36年4月～昭和51年8月	製品部長
	近藤秀晴	昭和36年4月～昭和50年4月	意匠部長
	岩田正十四	昭和47年7月～昭和58年7月	総務部長
	和田至弘	昭和50年5月～昭和53年4月	開発室長
	松崎洋治	昭和53年2月～平成12年5月	営業部長
	丸尾泰治郎	昭和59年7月～平成2年5月	GD企画本部長
	和田匡生	昭和63年7月～平成13年8月	開発室長
	向山善高	昭和63年7月～平成16年9月	大阪店長
	中村次郎	平成6年8月～平成11年4月	経理部長
監査役	中村義一郎	昭和30年1月～昭和31年6月	
	中條清勝	昭和31年6月～昭和36年4月	
	阿南主税	昭和36年4月～昭和54年7月	
	和田珂代子	昭和54年7月～	

◆株式会社成和ネクタイ研究所の歩み

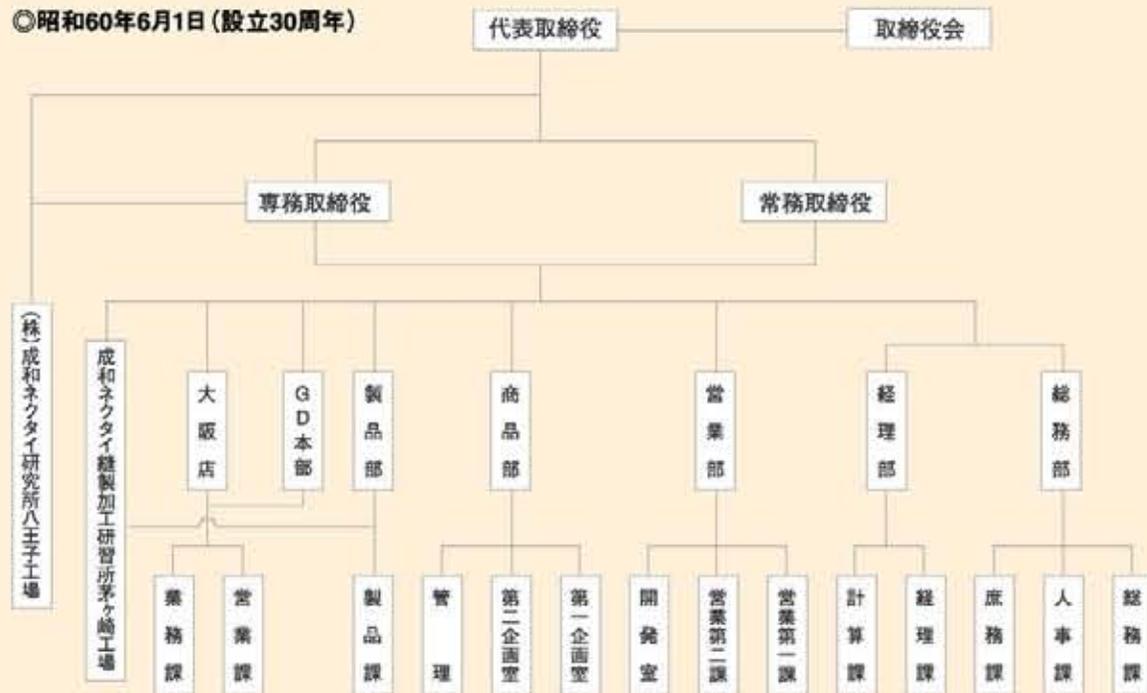
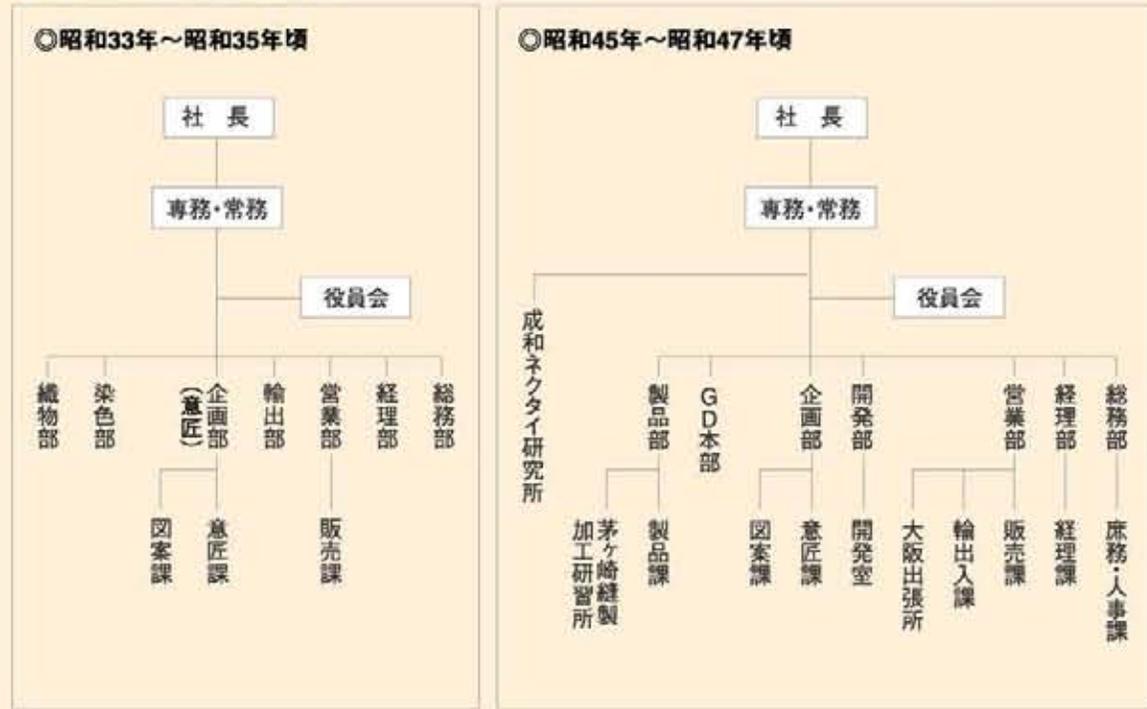
年代	動き
昭和31年10月(1956)	<ul style="list-style-type: none"> ○成和株式会社の製織工場として、八王子明神町2番地9にて操業開始する ○開設創業当時の織物工場設備(シャトル機10台、整経機1台、繰返機20スイ、管巻機10スイ、紋彫機1台 設備一式 他)
昭和32年(1957)	<ul style="list-style-type: none"> ○社長、欧州視察より帰国後、錫加工の研究を指令
昭和33年(1958)	<ul style="list-style-type: none"> ○国内で初めて錫加工に成功
昭和35年11月(1960)	<ul style="list-style-type: none"> ○八王子市北野町1600番地に成和ネクタイ総合研究所完成(昭和36年春より稼働) ○精練、錫加工、染色、製織と一貫作業による本網ネクタイ専門工場としてスタートする敷地9,255.7平方米、建物(ドーム型)1,050平方米、織機(45インチ~67インチ)50台、整経機2台、糸繰機8台、合燃機2台、ジャガード50台、ドビー10台、紋彫機2台、自動染色機2台、錫加工設備一式 他
昭和36年(1961)	<ul style="list-style-type: none"> ○錫加工の増産に成功し、第一回国際見本市に出展
昭和37年(1962)	<ul style="list-style-type: none"> ○「網ネクタイを高級化するための錫加工の研究」に対し、日本絹業協会より研究助成金を昭和37~38年と交付される(従業員55名)
昭和39年(1964)	<ul style="list-style-type: none"> ○イタリー(コモ)の染色技師長ワルター博士より、研究所にて指導を受ける
昭和40年2月(1965)	<ul style="list-style-type: none"> ○成和株式会社より分離、成和株式会社の全額出資による株式会社成和ネクタイ研究所を設立
昭和40年(1965)	<ul style="list-style-type: none"> ○研究所独自の錫加工量産設備の建設を完成
昭和47年(1972)	<ul style="list-style-type: none"> ○構造改革の一環として、ベルドールペーパージャガード、津田駒MAVレビアルームおよびダクティ製紋機を導入(従業員74名、翌昭和48年は最高の82名)
昭和60年2月(1985)	<ul style="list-style-type: none"> ○八王子市北野町518番地2に新工場完成、旧工場より移転する ○設備は、会社概要参照
平成7年9月(1995)	<ul style="list-style-type: none"> ○「襷(はた)資料館」開設
平成10年12月(1998)	<ul style="list-style-type: none"> ○電子ジャガード試験的に導入
平成17年(2005)	<ul style="list-style-type: none"> ○本社50周年記念事業の一環として最新織機および電子ジャガード等設備拡充(スルザーテキスタイルG6500 2台、ストーブリーCX870 5台 他)



昭和35~36年当時

- ① 研究所全景
- ② 研究所内部(織機・設備一式)
- ③ 研究所内部(糸染・錫加工)
- ④ 研究所新築披露(工場内で談笑する創業者和田全弘)

◆成和株式会社組織図



◆「父の日」宣伝活動(ポスター)

(日本ネクタイ組合連合会宣伝委員会調べ)

回	期日	ポスター構図	表現	使用ネクタイ	キャッチフレーズ	担当
1	昭和41年6月19日	三世代の父親に子供(男女)がプレゼントをしている	イラスト	水玉ネクタイ	「父の日」にネクタイを贈ろう	関西
2	昭和42年6月18日	夫に女房と子供(女の子)がプレゼントをしている	イラスト	ストライプ	「父の日」にネクタイを贈りましょう	関西
3	昭和43年6月16日	夫に女房と子供(女の子)がプレゼントをしている	イラスト	小柄	「父の日」にネクタイを贈りましょう	関東
4	昭和44年6月15日	父親に娘よりプレゼントを…(父親が娘を背負っている)	イラスト	中総柄	「父の日」にネクタイを贈りましょう	関東
5	昭和45年6月21日	夫(モデル芥川也寸志)に女房と子供がプレゼントをしている	写真	中水玉	「父の日」にネクタイを贈りましょう	関西
6	昭和46年6月20日	夫(モデル芥川也寸志)に女房と子供がプレゼントをしている	写真	アールデコ柄	「父の日」にネクタイを贈りましょう	関西
7	昭和47年6月18日	三世代の父親に子供三人(モデル)がプレゼントをしている	写真	中大柄&ストライプ	「父の日」ネクタイを贈りましょう	関東
8	昭和48年6月17日	肖像画にネクタイをしめさせたもの(縦型ポスター)	印刷	柄ストライプ	「父の日」ネクタイを贈りましょう	関東
9	昭和49年6月16日	夫に女房と子供(モデル)がプレゼントをしている	写真	ストライプ	「父の日」ネクタイを贈りましょう	関西
10	昭和50年6月15日	「父の日」の筆書	印刷		感謝を捧げましょう 贈りものにはネクタイを	関西
11	昭和51年6月20日	「トランプ」(K&Q)を拡大表現したもの	印刷		プレゼントの切り札は「ネクタイ」	関東
12	昭和52年6月19日	親子(モデル桂歌丸師匠親娘)が楽しく語り合っている情景	写真	水玉	さりげなく親孝行ができるなんて年に一度ですものね	関東
13	昭和53年6月18日	親子(モデルE・Hエリック親娘)の楽しい一時の情景	写真	水玉	ありがとう「ネクタイ」で結ぶ「父の日」	関西
14	昭和54年6月17日	宇宙よりネクタイに乗って…メルヘンタッチのもの	印刷	ストライプ	ガンバレ! お父さん父の日ネクタイを贈りましょう	関西
15	昭和55年6月15日	モデル(俳優 高橋洋子)がプレゼントケースを持っている	写真		父さんの胸に贈ろうネクタイを	関東
16	昭和56年6月21日	親子(男性モデル)の楽しい一時の情景	写真	花柄プリント	お父さんキマッテルネプレゼントならネクタイを	関東
17	昭和57年6月20日	ストライプの「ネクタイ」を表現	写真	ストライプ	おっ! ネクタイ	関西
18	昭和58年6月19日	ストライプの「ネクタイ」&黄色い「リボン」	写真	ストライプ	きまったね! ネクタイ	関西
19	昭和59年6月17日	エーゲ海の風景をバックに異素材の「ネクタイ」を表現	写真	ストライプ	「ネクタイ」は「父の日」のカーネーション	関東
20	昭和60年6月16日	素材感のプリントネクタイとギフトケース	写真	水玉プリント	感謝してます、感激しました。	関東
21	昭和61年6月15日	水玉ネクタイ一本	イラスト	水玉	言葉より、素直なありがとう	関西
22	昭和62年6月21日	透明セロファンに包んだネクタイに黄色いリボン	写真	水玉	わたしたちの……東ねました。	関西
23	昭和63年6月19日	ネクタイで「父」の文字	写真	水玉	一本あげたのに、こりゃ一本とられた父。	関東

回	期日	ポスター構図	表現	使用ネクタイ	キャッチフレーズ	担当
24	平成元年6月18日	ぼやかした生地とネクタイ	写真	無地	この際、一本スジを通そう。	関東
25	平成2年6月17日	モデル(女の子)とネクタイ	写真	花柄	世間の皆様、私の父はオジサンではありません。	関西
26	平成3年6月16日	モデル(羽野晶紀)とネクタイ3本	写真	水玉・ストライプ・ベズリ	父は私のことを美人だと言ってくれる。	関西
27	平成4年6月21日	男性が締めたエンジのネクタイを自慢している絵柄	イラスト	小紋	Thanks Dady	関東
28	平成5年6月20日	女性がネクタイを手にしている絵柄(丸めるとポップになる)	イラスト	トラッドスト	Love to Pa pa	関東
29	平成6年6月19日	三人の子供とブルドックがネクタイを締めている絵柄	イラスト	エンジのドット	Enjoy Father's Day	関西
30	平成7年6月18日	制作せず				
31	平成8年6月16日	女性がリボンタイを締め、プレゼントを持っている絵柄	イラスト	ブルーのトビ柄	えー父の日い? そんなあったわけ? 知るかよだっせー……ってカンジで	関西
32	平成9年6月15日	男女背中合わせで女性がネクタイのプレゼントを持っている絵柄	イラスト	赤のトビ柄	言葉より、ネクタイ。	関東
33	平成10年6月21日	制作せず				
34	平成11年6月20日	夫婦に女の娘三人の絵柄	イラスト	エンジのドット	「フロムファミリー」いつもあたたかい優しく大きな愛に包まれて。家族にとっていちばん大切なあなたに この日、家族からありがとうの気持ちを贈りたい。	関東
35	平成12年6月18日	新聞広告のみ この年以降ポスター制作停止				関東

◆「バレンタインデー」宣伝活動(ポスター) 毎年2月14日

(日本ネクタイ組合連合会宣伝委員会調べ)

回	期日	ポスター構図	表現	使用ネクタイ	キャッチフレーズ	担当
1	平成元年2月14日	バラとネクタイのぼかした絵柄	写真	ベズリ	恋心バラしたい。	
2	平成2年	プリントネクタイ5本扇型にたたくて手にしている絵柄	写真	ベズリ・水玉大小無地・小紋	女の切り札。	
3	平成3年	ピエロの人形とネクタイ	写真	花柄プリント	恋を愛に変えます。	
4	平成4年	女性がネクタイを胸に当てシルエットの男性とキスしている絵柄	イラスト	ストライプ	I LOVE YOU VALENTINE2.14	
5	平成5年	男性と女性がネクタイをはきんでキスしている絵柄	イラスト	ストライプ	大好きです。	
6	平成6年	男性と女性が愛の表現をしている絵柄のネクタイ5本	イラスト	男女の顔の柄	ネクタイを贈るバレンタイン。	
7	平成7年	抱き合った男性の背中に女性の手を持つプレゼントネクタイの絵柄	イラスト	レンガ色のトビ柄	こんどは、マジ。	

◆この他「ネクタイの日」(10/1)、「ネクタイウィーク」(10/1~10/7)、「ポスター」(10/16)、納婦式(11/22)の宣伝活動も行う。

ポスター・テレフォンカード

(父の日・バレンタイン・ネクタイの日・ボスデー)

Father's Day

ポスター



Valentine Day

ポスター



Boss Day

テレフォンカード



Necktie Week

テレフォンカード



◆国内ネクタイ生産量 ※調査方法の差異により、1996年以前と1997年以降の数字に若干の段差があります。
 ※1971年以前には輸入数については未調査。 ※最高数量 単位/本

年代	国産	輸入	合計	輸入の割合
昭和34年(1959)	19,825,000		19,825,000	
昭和35年(1960)	22,222,986		22,222,986	
昭和36年(1961)	23,140,339		23,140,339	
昭和37年(1962)	25,998,861		25,998,861	
昭和38年(1963)	28,313,197		28,313,197	
昭和39年(1964)	27,876,307		27,876,307	
昭和40年(1965)	26,665,298		26,665,298	
昭和41年(1966)	27,423,809		27,423,809	
昭和42年(1967)	31,094,374		31,094,374	
昭和43年(1968)	34,109,475		34,109,475	
昭和44年(1969)	38,328,420		38,328,420	
昭和45年(1970)	39,624,943		39,624,943	
昭和46年(1971)	40,723,542		40,723,542	
昭和47年(1972)	41,713,112	1,272,920	42,986,032	3.0%
昭和48年(1973)	47,803,227	4,284,649	52,087,876	8.2%
昭和49年(1974)	42,860,553	3,432,064	46,292,617	7.4%
昭和50年(1975)	42,769,809	3,972,866	46,742,675	8.5%
昭和51年(1976)	43,668,016	4,240,604	47,908,620	8.9%
昭和52年(1977)	42,885,798	3,938,089	46,823,887	8.4%
昭和53年(1978)	38,221,187	3,975,123	42,196,310	9.4%
昭和54年(1979)	37,380,685	4,482,375	41,863,060	10.7%
昭和55年(1980)	35,979,965	3,839,882	39,819,847	9.6%
昭和56年(1981)	38,338,024	4,957,911	43,295,935	11.5%
昭和57年(1982)	36,552,822	4,350,841	40,903,663	10.6%
昭和58年(1983)	34,846,330	4,144,114	38,990,444	10.6%
昭和59年(1984)	42,083,074	5,041,961	47,125,035	10.7%
昭和60年(1985)	40,269,865	3,884,187	44,154,052	8.8%
昭和61年(1986)	44,267,922	6,300,995	50,568,917	12.5%
昭和62年(1987)	46,860,389	6,427,774	53,288,163	12.1%
昭和63年(1988)	※47,832,591	8,378,910	56,211,501	14.9%
平成元年(1989)	45,964,498	9,411,057	55,375,555	17.0%
平成2年(1990)	44,680,583	9,872,359	54,552,948	18.1%
平成3年(1991)	43,598,155	12,851,041	※56,449,196	22.8%
平成4年(1992)	35,878,742	16,048,039	51,926,781	30.9%
平成5年(1993)	34,447,224	17,874,650	52,321,874	34.2%
平成6年(1994)	30,007,480	15,172,573	45,180,053	33.6%
平成7年(1995)	26,345,917	13,732,567	40,078,484	34.3%
平成8年(1996)	27,253,610	12,624,872	39,878,482	31.7%
平成9年(1997)	30,292,000	19,394,820	49,686,820	39.0%
平成10年(1998)	29,185,765	20,168,738	49,354,503	40.9%
平成11年(1999)	25,039,884	23,603,826	48,643,710	48.5%
平成12年(2000)	23,078,277	24,030,895	47,109,172	51.0%
平成13年(2001)	17,412,688	26,700,224	44,112,912	60.5%
平成14年(2002)	15,935,423	29,507,510	45,442,933	64.9%
平成15年(2003)	14,664,433	29,672,936	44,337,369	66.9%
平成16年(2004)				

(日本ネクタイ組合連合会の調査)

◆ネクタイ国別輸入数量(概数) ※最高数量 単位/本

年度	中国	韓国	イタリア	その他	合計
昭和48年(1973)	4,000	204,000	1,284,000	1,052,000	2,544,000
昭和49年(1974)	12,000	216,000	960,000	816,000	2,004,000
昭和50年(1975)	12,000	108,000	1,368,000	816,000	2,304,000
昭和51年(1976)	24,000	120,000	1,692,000	984,000	2,820,000
昭和52年(1977)	3,300	264,000	1,860,000	932,700	3,060,000
昭和53年(1978)	2,800	600,000	2,064,000	1,065,200	3,732,000
昭和54年(1979)	12,000	420,000	1,980,000	1,104,000	3,516,000
昭和55年(1980)	12,000	336,000	1,584,000	888,000	2,820,000
昭和56年(1981)	12,000	252,000	1,680,000	828,000	2,772,000
昭和57年(1982)	5,700	144,000	1,572,000	930,300	2,652,000
昭和58年(1983)	12,000	264,000	1,512,000	888,000	2,676,000
昭和59年(1984)	4,200	396,000	1,704,000	967,800	3,072,000
昭和60年(1985)	12,000	708,000	1,632,000	720,000	3,072,000
昭和61年(1986)	12,000	1,536,000	2,052,000	1,032,000	4,632,000
昭和62年(1987)	6,600	2,580,000	2,088,000	1,205,400	5,880,000
昭和63年(1988)	24,000	3,900,000	3,132,000	1,380,000	8,436,000
平成元年(1989)	96,000	5,040,000	4,272,000	1,836,000	11,244,000
平成2年(1990)	72,000	5,712,000	4,764,000	1,692,000	12,240,000
平成3年(1991)	48,000	7,776,000	4,344,000	1,164,000	13,332,000
平成4年(1992)	168,000	10,908,000	4,164,000	1,284,000	16,524,000
平成5年(1993)	864,000	※13,368,000	5,784,000	1,596,000	21,612,000
平成6年(1994)	3,156,000	10,812,000	7,392,000	1,596,000	22,956,000
平成7年(1995)	2,124,000	7,140,000	※7,608,000	1,872,000	18,744,000
平成8年(1996)	4,503,000	7,921,000	7,051,000	1,696,000	21,171,000
平成9年(1997)	6,152,000	6,410,000	5,354,000	1,479,000	19,395,000
平成10年(1998)	7,869,000	6,684,000	4,366,000	1,250,000	20,169,000
平成11年(1999)	13,587,000	5,307,000	3,707,000	1,003,000	23,604,000
平成12年(2000)	17,347,000	2,172,000	3,560,000	1,222,000	24,301,000
平成13年(2001)	21,828,000	762,000	3,258,000	852,000	26,700,000
平成14年(2002)	25,275,000	414,000	2,955,000	864,000	29,508,000
平成15年(2003)	※25,886,000	294,000	2,632,000	861,000	※29,673,000
平成16年(2004)	24,396,000	177,000	2,364,000	703,000	27,640,000

日本ネクタイ組合連合会調査(前頁の輸入量)とこの通関ベースの輸入量とは調査方法の違いにより誤差があります。 財務省調査

◆100%シルクネクタイ国別輸入数量

年度	中国	韓国	イタリア	その他	合計
平成10年(1998)	5,852,377	5,912,084	3,998,011	1,113,045	16,875,517
平成11年(1999)	9,236,788	4,736,816	3,413,000	904,068	18,290,672
平成12年(2000)	12,900,648	1,899,466	3,256,733	858,081	18,914,928
平成13年(2001)	15,917,669	640,647	3,044,876	795,447	20,398,639
平成14年(2002)	17,919,189	378,920	2,758,101	810,542	21,866,752
平成15年(2003)	17,412,656	263,763	2,503,639	787,523	20,967,581
平成16年(2004)	16,969,377	162,245	2,355,852	692,792	20,180,266

財務省調査

◆生糸生産量および輸出入量

※最高数量 単位/俵(1俵60kg)

年度	国内生産量	輸出数量	輸入数量			
			中国糸	ブラジル糸	その他	輸入合計
昭和4年(1929)	705,776	※680,550				
昭和9年(1934)	※754,056	552,216				
昭和10年(1935)	728,878	554,996				
昭和11年(1936)	708,458	505,300				
昭和12年(1937)	697,909	478,584				
昭和13年(1938)	719,202	477,909				
昭和14年(1939)	693,629	386,030				
昭和15年(1940)	712,804	293,691				
昭和16年(1941)	654,908	142,751				
昭和17年(1942)	452,941	8,171				
昭和18年(1943)	355,903	12,513	第二次世界大戦中			
昭和19年(1944)	154,026	1,022				
昭和20年(1945)	87,075	—				
昭和21年(1946)	94,192	86,427				
昭和22年(1947)	119,773	17,273				
昭和23年(1948)	144,315	80,032				
昭和24年(1949)	175,375	48,663				
昭和25年(1950)	176,993	94,622				
昭和26年(1951)	215,268	68,379				
昭和27年(1952)	256,687	70,185				
昭和28年(1953)	250,721	63,422				
昭和29年(1954)	257,915	75,986				
昭和30年(1955)	289,476	86,614				
昭和31年(1956)	312,787	75,966				
昭和32年(1957)	314,775	73,886				
昭和33年(1958)	333,573	46,759				
昭和34年(1959)	318,677	89,577				
昭和35年(1960)	300,796	88,323				
昭和36年(1961)	311,311	70,101	生糸輸入は1962年開始			
昭和37年(1962)	331,601	77,448	1			1
昭和38年(1963)	301,318	50,806	66			66
昭和39年(1964)	324,306	37,259	429			429
昭和40年(1965)	318,438	17,285	4,766	0	353	5,119
昭和41年(1966)	311,572	8,790	11,374	10	7,586	18,970
昭和42年(1967)	315,435	3,729	16,161	113	13,728	30,002
昭和43年(1968)	345,913	9,438	9,707	230	11,887	21,824

その他の国は北朝鮮、韓国、ベトナム、ブルガリア、イタリア、タイ等

※最高数量 単位/俵(1俵60kg)

年度	国内生産量	輸出数量	輸入数量			
			中国糸	ブラジル糸	その他	輸入合計
昭和44年(1969)	358,090	3,072	19,051	570	24,105	43,726
昭和45年(1970)	341,924	1,242	22,508	1,745	41,725	65,978
昭和46年(1971)	328,071	1,146	47,118	2,591	48,801	98,510
昭和47年(1972)	318,945	356	※103,192	4,025	61,424	※168,641
昭和48年(1973)	321,943	146	96,040	5,384	41,917	143,341
昭和49年(1974)	315,603	786	43,660	5,802	49,215	98,677
昭和50年(1975)	336,146	輸出消滅	24,639	2,728	13,711	41,078
昭和51年(1976)	298,078		24,952	3,125	7,742	35,819
昭和52年(1977)	268,036		36,398	3,610	15,910	55,918
昭和53年(1978)	265,959		53,660	2,325	27,848	83,833
昭和54年(1979)	265,829		42,077	2,350	16,040	60,467
昭和55年(1980)	269,247		34,633	4,211	10,754	49,598
昭和56年(1981)	247,012		10,766	4,306	182	15,254
昭和57年(1982)	216,542		29,867	3,325	5,060	38,252
昭和58年(1983)	207,611		30,059	1,758	8,662	40,479
昭和59年(1984)	179,662		19,992	4,454	912	25,358
昭和60年(1985)	159,859		29,378	5,264	322	34,964
昭和61年(1986)	139,013		26,900	5,420	296	32,616
昭和62年(1987)	131,073		20,835	3,445	0	24,280
昭和63年(1988)	114,362		29,096	2,972	544	32,612
平成元年(1989)	101,301		30,458	2,275	1,394	34,127
平成2年(1990)	95,347		25,049	7,196	3,124	35,369
平成3年(1991)	92,110		40,745	4,277	1,073	46,095
平成4年(1992)	84,748		19,827	5,180	992	25,999
平成5年(1993)	70,899		20,317	3,988	428	24,733
平成6年(1994)	65,017		19,999	5,557	163	25,719
平成7年(1995)	53,810		23,678	9,510	20	33,208
平成8年(1996)	42,976		30,586	13,660	35	44,281
平成9年(1997)	31,698		22,313	12,816	155	35,284
平成10年(1998)	18,459		19,844	9,096	169	29,109
平成11年(1999)	10,829		27,446	※14,602	194	42,242
平成12年(2000)	9,280		30,147	11,772	57	41,976
平成13年(2001)	7,191		22,018	8,339	9	30,366
平成14年(2002)	6,521		24,521	7,909	7	32,437
平成15年(2003)	4,791		24,078	7,260	42	31,380
平成16年(2004)	4,359		23,600	6,700	100	30,400(推)

財務省、農林水産省調査

◆養蚕（養蚕農家数・桑栽培面積）及生糸生産量の推移

※最高数量

	養蚕農家数	桑栽培面積(ヘクタール)	収繭量(トン)	生糸生産量(キログラム)
明治23年(1890)	—	245,010	43,960	3,457,778
明治33年(1900)	—	298,240	103,262	7,102,283
明治43年(1910)	—	438,790	146,279	11,904,281
大正4年(1915)	1,673,460	449,940	174,263	15,171,904
大正6年(1920)	1,894,843	529,840	237,465	21,876,953
大正14年(1925)	1,948,706	544,520	317,924	31,066,189
昭和5年(1930)	※2,216,027	※707,550	※399,093	42,618,848
昭和10年(1935)	1,894,647	576,620	307,434	※43,732,680
昭和15年(1940)	1,645,030	528,162	327,797	42,768,214
昭和20年(1945)	1,004,348	240,081	84,636	5,224,455
昭和25年(1950)	834,628	174,746	80,415	10,619,561
昭和30年(1955)	808,520	187,280	114,373	17,368,470
昭和35年(1960)	845,675	165,652	111,208	18,047,887
昭和40年(1965)	513,700	163,800	105,513	19,106,301
昭和45年(1970)	399,100	163,100	111,736	20,515,326
昭和50年(1975)	248,400	150,600	91,219	20,168,717
昭和55年(1980)	165,590	121,200	73,061	16,154,848
昭和60年(1985)	99,710	96,800	47,274	8,824,260
平成2年(1990)	52,060	59,500	24,925	5,709,720
平成7年(1995)	13,640	26,300	5,350	2,914,560
平成8年(1996)	7,890	19,300	3,021	2,372,880
平成9年(1997)	6,310	13,800	2,516	1,523,280
平成10年(1998)	5,070	10,300	1,980	846,540
平成11年(1999)	4,030	7,350	1,496	599,640
平成12年(2000)	3,280	5,880	1,244	494,460
平成13年(2001)	2,730	4,790	1,031	420,240
平成14年(2002)	—	—	866	391,260
平成15年(2003)	—	—	765	287,460
平成16年(2004)	—	—	—	261,540

生産量(キログラム)を60kgで割ると俵数になりますが、調査方法、端数処理等のちがいに、別表の生産数(単位:俵)と数量の差異があります。

財務省、農林水産省調査

◆東京外国為替相場

(年平均:1ドル/円)

年 度	相 場(円)
昭和24年(1949)	360円(固定)
昭和46年(1971)	308円(変動相場制への移行)
昭和53年(1978)	199.1円
平成3年(1991)	134.6円
平成4年(1992)	126.6円
平成5年(1993)	111.1円
平成6年(1994)	102.2円(年内最高値99.5円)
平成7年(1995)	94.0円(年内最高値79.75円)
平成8年(1996)	108.8円
平成9年(1997)	120.9円
平成10年(1998)	131.0円
平成11年(1999)	113.9円
平成12年(2000)	107.7円
平成13年(2001)	121.5円
平成14年(2002)	125.3円
平成15年(2003)	115.9円
平成16年(2004)	108.9円(年内最高値103.21円)

東京三菱銀行発表

◆月別東京外国為替相場

(月平均:1ドル/円)

平成16年(2004)	相 場(円)
1月	107.4円
2月	108.2円
3月	109.6円
4月	107.6円
5月	112.5円
6月	109.8円
7月	110.8円
8月	111.7円
9月	111.3円
10月	108.6円
11月	105.3円
12月	104.3円(年内最高値103.21円)

東京三菱銀行発表

全国ネクタイ業者一覧

昭和35年頃(日本ネクタイ史より)

◆東京ネクタイ商工業協同組合 東京都台東区御徒町一丁目七十四番地 電話下谷(83)八四六四番

称号(五十音順)	代表者氏名	営業所	電話番号
株式会社 相場商店	相場 正俊	東京都北区赤羽町一ノ〇四	(901)3730
株式会社 青木染色研究所	青木 弘	東京都八王子市中野町二五七	八王子1980
有限会社 阿出川商店	阿出川清治郎	東京都千代田区神田末広町四一	(251)2538 9180 1981
株式会社 安藤商店	安藤 善朗	東京都台東区浅草柳橋二ノ三七	(851)8500
朝倉商事 株式会社	朝倉 文雄	東京都千代田区神田五軒町三五	(831)5241
有限会社 旭日ネクタイ	名和 伝	東京都台東区浅草橋二ノ七	(831)6493
旭ネクタイ工業 株式会社	魚川 武	東京都中央区西八丁堀二ノ一七	(551)4470
有限会社 池田商店	池田 実	東京都墨田区東両国二ノ六	(631)2170
株式会社 イチオカ	一岡利喜蔵	東京都新宿区大京町二一	(351)0926
市橋商店	市橋 清市	東京都荒川区日暮里町四ノ九四三	(891)4021
植木染織工芸 株式会社	植木 光司	東京都千代田区神田栄町一三	(866)0053
植木ネクタイ 株式会社	植木 直枝	東京都台東区上野桜木町四五	(821)3630
大木実業 株式会社	大木 巖	東京都中央区日本橋両国三ノ七	(851)9193~6
株式会社 小沢繁蔵商店	小沢 静雄	東京都中央区日本橋横山町三	(661)6993
太田商事 株式会社	太田 操	東京都台東区浅草向柳原二ノ四四	(851)4626
株式会社 太田商店	太田 泰輔	東京都台東区竹町二四	(831)1690
大貫ネクタイ 株式会社	大貫 一	東京都八王子市中野町東一ノ三五八	八王子(2)7037~8
株式会社 太田太一商店	太田 太一	東京都中央区日本橋横山町五	(661)9087 5269
大倉ネクタイ 株式会社	大倉 宏之	東京都台東区永住町八八	(841)8416
有限会社 大山商店	秋山 祐司	東京都台東区浅草向柳原一ノ四〇	(851)4430 (866)6959
加藤ネクタイ店	加藤 一匡	東京都千代田区神田末広町四七	(251)6775
河合伸定商店	河合 伸定	東京都台東区浅草橋三ノ十九	(851)6985
河村商事株式会社	鳥倉 弓二	東京都中央区日本橋橋町一三	(671)8331~2
株式会社 カネノ商店	豊田 栄蔵	東京都中央区日本橋横山町七	(661)7025
キャピタルクラブ	有賀 靖雄	東京都台東区坂町一〇	(831)7664
キリンヤシャツ 株式会社	山越孝一郎	東京都中央区日本橋馬喰町一	(661)7072 7422
黒崎ネクタイ 株式会社	黒崎 喜忠	東京都台東区谷中天王寺町二五	(821)5429 7285
株式会社 近藤商店	近藤 昭二	東京都墨田区東両国一ノ四	(631)5318
株式会社 川島商店	川島福三郎	東京都文京区湯島天神町一ノ四	(831)5105
神崎服飾工芸 株式会社	神崎 莊一	東京都世田谷区太子堂町四八八	(421)4418
有限会社 三旺服徳商事	武倉竜太郎	東京都中央区日本橋両国三六	(851)8783
株式会社 栄	酒井 温	東京都文京区西丸町二八	(941)6013
三共ネクタイ 株式会社	久木 清蔵	東京都中央区明石町三一	(541)8574
三晃ネクタイ 株式会社	下山 行広	東京都中央区日本橋馬喰町三ノ一	(661)9287
有限会社 三陽商事	小泉 利雄	東京都大田区道塚二	(731)0813
三和ネクタイ 有限会社	渡辺 章一	東京都千代田区神田多町二ノ九	(251)4621
株式会社 渋井	渋井賢太郎	東京都杉並区松庵北町一〇〇	(391)0098
有限会社 湘南商会	船橋 靖	東京都台東区浅草駒形一ノ六	(841)7011 7015

称号(五十音順)	代表者氏名	営業所	電話番号
成和株式会社	和田 全弘	東京都千代田区九段二ノ一	(331)5895 1984 8781
高橋商店	高橋 新平	東京都北区赤羽町一ノ二	(901)5078
株式会社 高信	高木 信量	東京都台東区	(841)5223
株式会社 高瀬商店	高瀬 順次	東京都台東区中根岸三九	(841)3770 5777
株式会社 田中栄光堂	田中 光雄	東京都新宿区市ヶ谷土原町二ノ七	(331)6578 2827
株式会社 田村商店	田村 慶吉	東京都中央区八重洲町六ノ七	(281)6720
第一雄貨株式会社	甲 二三雄	東京都千代田区神田和泉町一ノ十一	(866)1483
株式会社 タイガー東京出張所	加藤 克己	東京都中央区日本橋矢ノ倉町八	(851)6676
千代田ネクタイ 株式会社	小林 利全	東京都千代田区豊島町七	(866)4517
中央ネクタイ 株式会社	森 薫	東京都荒川区日暮里町四ノ一、〇四九	(891)4547 4548
有限会社 辻勝商店	辻 勝一	東京都台東区浅草向柳原一ノ二五	(851)7023
株式会社 辻商店	辻 昭三	東京都千代田区神田和泉町一ノ三	(866)0785
東京服飾通商 株式会社	宮尾 佳秀	東京都千代田区神田多町一ノ七	(251)3586
株式会社 東京堂	山内 正吉	東京都台東区竹町二一	(831)4967
東京帽子販売 株式会社	井口軍次郎	東京都中央区日本橋堀留町一ノ八	(671)8143~6
中村商事 有限会社	中村 久克	東京都杉並区久我山三ノ一、一九	(391)9332
中込商店	中込 貞夫	東京都荒川区日暮里町九ノ一、一一	(821)4737
中江商店	中江 潔	東京都台東区浅草向柳原一ノ七九	(851)0683
有限会社 長江商店	長江 三郎	東京都墨田区堅川町一ノ二	(631)3780
株式会社 永島	永島 武雄	東京都新宿区花園町二七	(351)5106~9
株式会社 ナガタニ	永谷 善喜	東京都中央区銀座東四ノ三	(541)5592
日彩 株式会社	蒲雄 一郎	東京都千代田区富士見町二丁目二ノ二、六	(331)1759
西陣ネクタイ 株式会社	折橋 良作	東京都台東区浅草向柳原一ノ五〇	(851)2077
株式会社 西沢商店	西沢喜三郎	東京都中央区日本橋馬喰町三ノ七	(661)1686
株式会社 ハシキン商店	橋本 金三	東京都台東区浅草向柳原二ノ一	(851)1915
株式会社 日の丸ネクタイ	野田京次郎	東京都中央区日本橋両国四六	(851)5234 5235
船越織物工業 株式会社	船越 政雄	東京都千代田区神田司町一ノ七	(231)3897
株式会社 細谷商店	細谷 八郎	東京都中央区日本橋横山町八ノ七	(661)7089
株式会社 堀井	堀井 常雄	東京都中央区日本橋馬喰町二ノ三	(661)0327~8
株式会社 堀欣商店	堀 久満	東京都港区赤坂新坂町一七	(408)4168
株式会社 細沼商店	細沼 善資	東京都中野区桜山町一三	(361)0663 3201
株式会社 松田商店	松田 守弘	東京都台東区浅草鳥越二ノ二	(851)4541 0751
丸新ネクタイ 有限会社	阿出川新之輔	東京都八王子市千人町一六六	八王子2940
丸善商事 株式会社	井上 秀一	東京都中央区日本橋両国四	(851)8228
株式会社 萬代	萬代政治郎	東京都千代田区神田鎌倉町一〇	(251)0455 4493 4691 5941
株式会社 マエダ	前田 芳茂	東京都中央区日本橋馬喰町三ノ二	(661)3504
有限会社 三森商店	三森堂次郎	東京都豊島区池袋二ノ九〇九	(971)5484
株式会社 三鈴商店	成田 富義	東京都中央区日本橋馬喰町四ノ一、三	(671)8132~3

◆東京ネクタイ商工業協同組合

称 号(五十音順)	代表者氏名	営 業 所	電話番号
株式会社 南進朗商店	南 進朗	東京都文京区菊坂町二二	(921)7060
南茂雄商店	南 茂雄	東京都台東区浅草柳橋二ノ十一	(851)6496
峰岸商店	峰岸 秀	東京都三鷹市下連雀二七二	(022)7480
三松商事 株式会社	小堀五三郎	東京都中央区日本橋蛸殻町四ノ十二	(671)6108代表
美松商事 株式会社	折笠 敬美	東京都豊島区要町三ノ二四	(951)4865
株式会社 茂木ネクタイ	茂木寿志進	東京都台東区竹町一三	(831)9865
モリヤ商店	守屋 勝雄	東京都千代田区神田紺屋町三二	(251)6895
株式会社 森田商店	森田 正二	東京都墨田区東両国三ノ二〇	(631)7504
株式会社 山本商店	山本 勝之	東京都台東区浅草新福井町一一	(851)7648
株式会社 田中山泉	田中 栄一	東京都台東区浅草左衛門町二	(851)7862 4958
山崎絹編 株式会社	山崎 静治	東京都文京区駒込神明町三二四	(821)1867 3366 6408
株式会社 横山ネクタイ店	横山英之輔	東京都千代田区東神田三	(866)0010 0011
吉川新吉商店	吉川 新吉	東京都千代田区神田三崎町二ノ二	(331)9523
株式会社 吉山嘉一商店	吉山篤四郎	東京都台東区浅草鳥越二ノ二	(851)2604
渡正ネクタイ 株式会社	渡辺陽之助	東京都台東区浅草柳橋一ノ二三	(851)3610 3680
渡公ネクタイ 株式会社	渡辺 公平	東京都台東区浅草橋三ノ一	(851)4822 7973 9494
株式会社 和商	是枝 正行	東京都台東区浅草向柳橋二ノ一一	(851)7380 4633
丸昌ネクタイ 株式会社	小林 虎雄	東京都荒川区南千住六ノ四八	(801)2369
三浦商事 株式会社	三浦 豊	東京都中央区日本橋両国二八	(851)0077 (866)5086
株式会社 双葉ネクタイ	大東 尚一	東京都品川区大井倉田町三四一九	(772)0745
株式会社 小見山	小見山真一	東京都荒川区日暮里町四ノ一〇五	(891)1523

◆関西ネクタイ商工業協同組合 大阪市東区横堀四丁目五番地ミツワビル内 電話船場(25)〇八二九番

称 号(順不同)	代表者氏名	営 業 所	電話番号
株式会社 池中商店	中村 忠	大阪市北区曾根崎中一丁目五七	大阪(34)5661
岩井商店	岩井 勇助	京都市上京区室町通上立売上ル	西陣(4)5946
株式会社 池中商店	池上 四郎	京都市中京区二条通河原町西入榎木町	上(3)7481
日彩 株式会社	蒲 雄一郎	大阪市南区順慶町三丁目五一	大阪(25)1202~3
西陣ネクタイ 株式会社	折橋 良作	京都市下京区綾小路通油小路西入	下(5)1513 4459
株式会社 西尾商店	西尾 幸也	京都市上京区元誓願寺通大宮東入	西陣(4)3570
西陣織産ネクタイ 株式会社	武智 克信	京都市中京区室町通三条上ル	本局(2)3231 3597
株式会社 堀欣商店大阪出張所	青木 章	大阪市南区大宝寺仲之町二三	大阪(27)0122
千代田ネクタイ 株式会社	小林 利平	京都市北区大將軍西町一七	西陣(4)2103 8171 3044
大阪物産 株式会社	里田 亮三	大阪市東区博労町四丁目四五	大阪(25)3891
渡辺ネクタイ 株式会社	渡辺 貞夫	大阪市北区曾根崎中二丁目八	大阪(34)0564(36)8804
株式会社 加賀屋商店	渡辺成之助	京都市上京区上立売通浄福寺西入	京都(45)3197
株式会社 吉鷹	吉鷹 義春	大阪市東区南久宝寺町一丁目四八	大阪(26)4641

称 号(順不同)	代表者氏名	営 業 所	電話番号
第一雄貨 株式会社	石井梅太郎	大阪市東区南本町五丁目一三	大阪(25)2141 4384
株式会社 タイガー	日比野 巖	大阪市南区鍛冶屋町六二	大阪(27)0234~6
たつみ商会	中山 福治	大阪市阿倍野区北天王寺町二丁目二五一	天王寺(77)6652
ダイヤ蝶 株式会社	藤井 正造	大阪市東区南久宝寺町三ノ一五	大阪(25)0903~6
田村商事 株式会社	田村 弘二	大阪市阿倍野区三明町一丁目一六	天王寺(77)1186
株式会社 田中栄光堂関西出張所	沢村 直俊	大阪市都島区都島南通一丁目一九	堀川(35)0925
有限会社 高桑朝日堂	高桑 豊	大阪市東区博労町四丁目一〇	船場(25)0610
株式会社 根本商店	根本 東	大阪市西区南堀通一丁目一三	大阪(44)2374
ネカド商店	根角 男生	京都市下京区仏光寺通大宮西入	壬生(84)5820
中岡商店	中岡 秀夫	京都市上京区衣通今出川上ル	西陣(44)2555 (45)3018
中村秀商店	中村 秀夫	大阪市東区	
波美商会	藤岡 利雄	京都市下京区油小路四条下ル	京都(36)1006 2035 1087
中川ネクタイ 株式会社	中山嘉一郎	京都市上京区元誓寺通大宮入	西陣(4)3849
山一ネクタイ 株式会社	山本 幸一	京都市中京区西ノ京門町四〇	壬生(84)5138
株式会社 八木商店	八木 洋一	大阪市西区堀下通二丁目三二	土佐堀(44)4665
万栄ネクタイ 株式会社	岡村裕三郎	大阪市東区南久宝寺町四丁目五五	船場(25)5555
藤田織物所	藤田喜代治	京都市北区紫竹西北町一五ノ一	西陣(4)3146 6682
株式会社 富士洋行	寺内太一郎	大阪市東区玉造町四三九	東(94)3320
株式会社 双葉ネクタイ	大東 尚一	京都市北区紫野石竜町五ノ二	西陣(4)6231
小林ネクタイ 株式会社	小林 巖	大阪市東区博労町四丁目四三	船場(25)2024 2025
近藤ネクタイ	近藤 幸作	京都市北区紫野東船岡町五七	西陣(4)6307
朝倉商事 株式会社	朝倉 外治	大阪市東区本町二丁目二〇	大阪(26)5017 5018 7017
斎藤商事 株式会社	斎藤 繁雄	京都市中京区六角塚通東入	本局(2)7155 7156
協織 株式会社	佐々木弘安	大阪市東区南本町一丁目九川口ビル内	大阪(26)1590
株式会社 北浦商店	北浦正太郎	大阪市西淀川区姫島町六七	淀川(47)1922
京都ネクタイ 株式会社	荒川 為義	京都市下京区烏丸通仏光寺南入	下(5)2133 5116
久宝商事 株式会社	久保 衛	大阪市南区順慶町一丁目二〇	大阪(26)4819
みずほネクタイ 株式会社	稲田 敏夫	大阪市東区北久宝寺町一丁目六	大阪(26)5444
株式会社 三浦豊商店	三浦 豊	京都市北区平野鳥居前三六	西陣(4)3443
株式会社 三鈴商店大阪営業所	川島 健三	大阪市南区瓦屋町二番町三三ノ二	南(75)6002
御産産業 株式会社	谷口 秀造	京都市上京区千本通五辻上西入牡丹餅町五六四	西陣(4)5192
篠田商店	篠田 教一	京都市中京区西ノ京御池通西大路東入	壬生(84)8663
菱屋商店	岡部 武	大阪市住吉区粉浜中ノ町一丁目一	大阪(67)3008
株式会社 日の丸ネクタイ大阪連絡所	野田 敏	大阪市南区西清水町二五大京ビル内	大阪(27)6266
株式会社 広島屋商店	蔵田 未一	大阪市東区南久宝寺町一丁目三〇	大阪(26)0636~8
重松 株式会社	高橋 庭蔵	京都市上京区寺の内通大宮西入一〇五	西陣(4)5437
鈴木健之助商店	鈴木健之助	大阪市住吉区粉浜本町四丁目六〇	住吉(67)2470

全国ネクタイメーカー同和会発足当時のメンバー(昭和26年)

◆中部洋品商工組合 名古屋市中区南大津通三ノ六 電話中局(24)六五七番

称号(順不同)	代表者氏名	営業所	電話番号
株式会社 稲垣商店	稲垣 栄平	名古屋市中区八百屋町一ノ三	本(23)4022 2673
株式会社 伊藤宇商店	伊藤 宇一	名古屋市中区東橋町二ノ三三	南(32)0621
株式会社 中京洋雑貨	吉川 未吉	名古屋市中区本重町二ノ八	本(23)1569
株式会社 横山商店	横山 章一	名古屋市中区鉄砲町三ノ六	本(23)4611~4614
株式会社 名古屋スポーツマン	高羽 豊	名古屋市中区南押切町五ノ一〇	西(53)4134
合資会社 塚谷富商店	塚谷 富	名古屋市中村区竹橋町二ノ二四	笹島(54)6466
株式会社 名古屋洋品商会	杉山 鈔光	名古屋市中区矢場町一ノ四九	中(24)3796 4631
株式会社 山本商店	山本 富	名古屋市中区鉄砲町三丁目	中(24)0126
有限会社 山昇	山本 昇	岐阜市問屋町三丁目	峰卓(2)7560
株式会社 藤政商店	加藤 政男	名古屋市中村区米屋町二	西(55)2063
株式会社 小島専蔵商店	小島 専蔵	名古屋市中区鉄砲町三	本(23)6719・4286・4787・4788
株式会社 沢井商店	沢井常三郎	名古屋市中区鉄砲町三	本(23)2851・3377
株式会社 名和商店	飯田 謙三	名古屋市中村区大宮町三ノ七	笹島(54)2003
株式会社 水野商店	水野 銚二	名古屋市中区矢場町一ノ一五	中(24)2980・2949
アジアシャツ株式会社	森 光一	名古屋市中村区下笹島町二七	笹島(54)6941
合資会社 守屋商店名古屋店	水野 正輝	名古屋市中区茶屋町二ノ一	本(23)3943
有限会社 鈴現商店	坪井敏一郎	名古屋市中区御幸本町六	本(23)0074・6771・3201・3236

◆博多織ネクタイ協会 福岡市紺屋町二番地 電話中(4)七二四三番

称号(順不同)	代表者氏名	営業所	電話番号
株式会社 横大路商店	横大路三郎	福岡市中土居町三五	
株式会社 山竜商店	山内 重平	福岡市紺屋町一六	
株式会社 後藤商店	後藤 基助	福岡市下西町一五	
株式会社 東京堂	山内 正吉	福岡市川端町五ノ五	
安武商店	安武寿之助	福岡県粕屋町新宮村下房	
ふじの商店	牧野 武彦	福岡市吉塚新緑町	
株式会社 山内織工場	山内 重平	福岡市養巴町一二	
古田織工場	古田 七郎	福岡市柳原町二ノ五一	
村上織工場	村上 憲一	福岡市住ノ江町八二	
川上織工場	川上清次郎	福岡市二見町二三	
内田織工場	内田 清	福岡市東領二ノ一三ノ三	
国崎織工場	国崎 政一	福岡市東住吉町五六九	
有限会社 久保織工場	久保大次郎	福岡市材木町四七	
博多織絹織物株式会社	後藤長兵衛	福岡市塩原町八一	
松石織工場	松石 米作	佐賀県佐賀郡久保田村徳万	

東京地区(二十社)

商社名	代表者	住所	電話
有限会社 阿出川商店	阿出川清次郎	東京都千代田区神田末廣町三五	下谷(83)一四一〇・七〇一五
株式会社 ハンキン商店	橋本 金三	東京都台東区浅草向柳原町二ノ一	浅草(84)一九一五
井上商店	井上 政市	東京都中央区日本橋濱町二ノ八六	茅場町(66)五五八七
市橋商店	市橋 清市	東京都荒川区日暮里町四ノ九四三	浅草(84)四〇二一
株式会社 坂塚商店	坂塚 一雄	東京都荒川区日暮里町九ノ一	下谷(83)八四八六
池田商店	池田 實	東京都墨田区東内國二ノ六	
加藤商店	加藤 一匡	東京都台東区神吉町五〇	
茂木商店	茂木 壽志造	東京都台東区浅草三筋町二ノ六	
松田守弘商店	松田 守弘	東京都台東区鳥越二ノ二	浅草(84)四五四一
村田商店	村田 伊一郎	東京都台東区池ノ端仲町一七	下谷(83)一九七八
南茂雄商店	南 茂雄	東京都台東区浅草柳橋二ノ一	
西澤商店	西澤 喜三郎	東京都中央区日本橋馬喰町三ノ七	茅場町(66)一六八六
長江商店	長江 三郎	東京都品川区堅川町一ノ二	
太田泰輔商店	太田 泰輔	東京都台東区竹町二四	下谷(83)一六九〇
三和織産業株式会社	和田 全弘	東京都千代田区神田司町二ノ七	神田(25)五〇一四
佐藤初男商店	佐藤 初男	東京都台東区西町四七	
渡邊正商店	渡邊 正	東京都台東区鳥越一ノ四	浅草(84)三六一〇
渡邊常吉商店	渡邊 常吉	東京都台東区浅草雷門一ノ二九	浅草(84)一五九一
吉川商店	吉川 新吉	東京都千代田区神田三崎町二ノ二	
株式会社 横山ネクタイ店	横山 英之輔	東京都千代田区東神田三	茅場町(66)一〇〇〇

関西地区(八社)

商社名	代表者	住所	電話
西尾商店	西尾 幸也	京都市上京区紫野四十二坊町三六	
吉鷹商店	吉鷹 喜三郎	大阪市東區南久寶寺町一ノ四八	船場 四六四一
みづほネクタイ株式会社	稲田 敏夫	大阪市東區北久寶寺町一ノ六	船場 五四四四
株式会社 三浦豊商店	三浦 豊	京都市上京区元誓願寺通千本東入	
千代田ネクタイ株式会社	小林 利平	京都市上京区大將軍西町一七	西 八一七・二一〇三
株式会社 タイガー	日比 野巖	大阪市南區鍛冶屋町六二	南 七二八五
西陣ネクタイ株式会社	折橋 良作	京都市下京区綾小路油小路西入	下 四四五九
大阪物産株式会社	内海 豊一	大阪市東區博愛町四丁目	船場 三八九一

代表幹事 和田 全弘
 幹事 松田 守弘
 全 小林 利平
 全 太田 泰輔
 全 内海 豊一

事務所 東京都台東区御徒町一ノ七四 東京ネクタイ會館内
全国ネクタイメーカー同和會
 電話下谷(83)八四六四番

編集後記

本年は初代和田全弘が創業以来70年、成和株式会社を設立してちょうど50年という節目の年にあたります。この意義ある年の記念事業の一つである50年史の編集を担当させていただくことになり、重大すぎる任務であると同時に光栄に存じております。

この重大な任務を背負って、まず調査を開始した訳ですが、何分にもはじめての経験であり苦難の連続でありました。資料の不備不足や調査困難な欠落部分等も多々あり、また保管場所も多岐にわたり調査に困窮したこともありました。しかしながら、膨大な資料の中から抜粋、分類し、その前後関係を前任者の資料とも照合、また関係各位への聞き込み調査も加え、完全とは言えないまでもほぼ事実に近い記録をすることができました。

時節柄、豪華なものでは発刊できませんが、まずは我社の創業以来の発展の記録を風化させることなく整然と次世代へ受け渡すことを第一義と考えました。後々関係者各位に参考になればと考え、可能な限り多くの補足資料も合せ掲載することに致しました。我が社が永いネクタイ業界の変遷の中で、どの様に関わり合ってきたかをわすれずかでもご理解いただければ幸いです。

日ネ連(日本ネクタイ史)、ネクタイ組合、取引先、各新聞社・出版社、他関係団体・各省庁のご協力と資料の引用をさせていただきました。また社内におきましては、先輩諸氏の資料の提供やご意見を賜りました。末筆ながら、これら関係各位のご協力に対して心より感謝致しますと共に、重ねて御礼申し上げます。

なお、通例として本文中の取引先名、人名等の敬称は省略させていただいております。ご寛容のほどお願い申し上げます。

編集担当 向山 善高



成和株式会社